

# 日本気象学会 2003 年度春季大会

会期 : 2003 年 5 月 21 日 (水) ~ 24 日 (土)  
 会場 : つくば国際会議場 (エポカルつくば: 茨城県つくば市竹園 2-20-3)

大会実行委員会担当機関: 筑波大学地球科学系, 国立環境研究所, 産業技術総合研究所, 農業環境技術研究所, 防災科学技術研究所

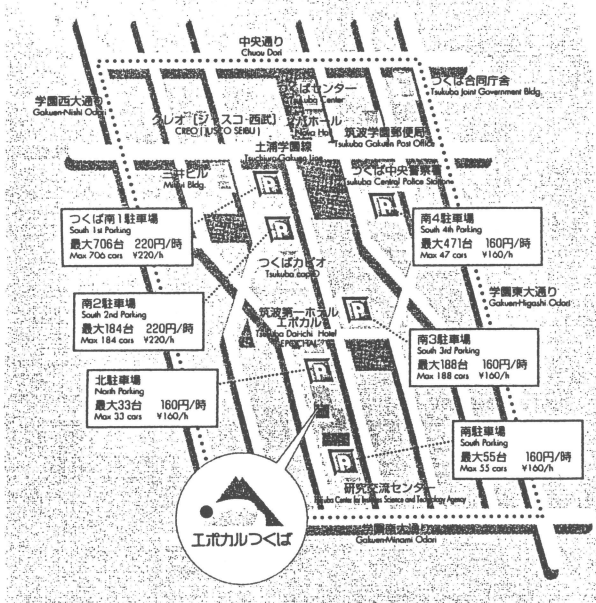
大会実行委員長 : 木村富士男

当日の会場への連絡先: 大会実行委員会事務局 (つくば国際会議場小会議室 404)  
 TEL・FAX: 029-861-0602 (直通)

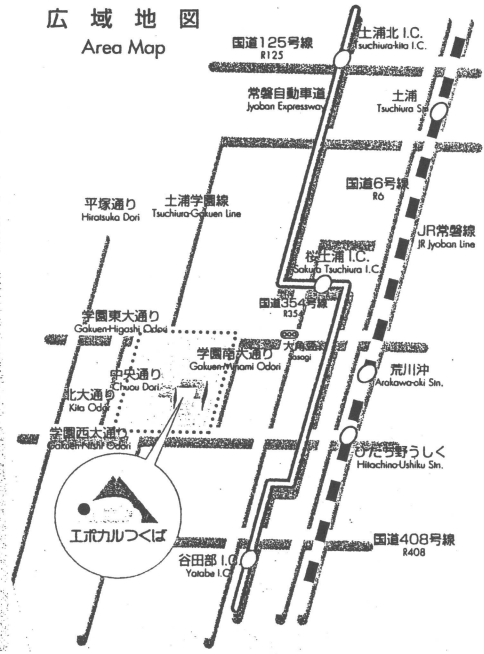
## 会場案内図

(詳細については <http://www.epochal.or.jp/> を参照して下さい)

会議場周辺地図 Map



広域地図 Area Map



### 交通のご案内 Access

JR Line and bus	常磐線 (特急) 43分 (2060円) JR Joban Line Limited express / about 43 min. / 2060 yen	土浦駅 Tsuchiura Stn.	バス25分 (510円) Bus / about 25 min. / 510 yen	徒歩 10分 Foot about 10 min. エスカレーターで ペDESTリアンデッキ (歩行者専用通路)に 昇り直進700m 700m south along the pedestrian path (go up the escalator to the path)
	常磐線 (各停) 80分 (950円) JR Joban Line Local / about 60 min. / 950 yen	ひたち野うしく駅 Hitachino-Ushiku Stn.	バス25分 (500円) Bus / about 25 min. / 500 yen	
Highway bus	つくば号 (八重洲南口発) 65分 (1250円) Tsukuba-Go from Yaesu-South exit / about 65 min. / 1250 yen			
高速バス	直行バス 80分 (1800円) Bus / about 80 min. / 1800 yen			
	エアポートライナー (NATT'S) 90分 (2540円) AIR PORT LINER (NATT'S) / about 90 min. / 2540 yen			

上野駅 Ueno Stn.  
東京駅 Tokyo Stn.  
羽田空港 Tokyo International Airport.  
成田空港 New Tokyo International Airport.

## 大会行事予定

A会場 : 大会議室 101 (1階)  
 B会場 : 大会議室 102 (1階)  
 C会場 : 中会議室 406 (4階)  
 D会場 : 小会議室 405 (4階)  
 ポスター会場 : 多目的ホール (1階)

総会・シンポジウムなど : 大ホール (1階)

受付 : ロビー (1階)  
 大会事務局 : 小会議室 404 (4階)  
 懇親会 : 大会議室 101+102 (1階)

		A会場	B会場	C会場	D会場
5月21日 (水)	09:30 ~ 11:00	物質循環I (8, A101 ~ A108)	降水システムI (7, B101 ~ B107)	中高緯度大気 (8, C101 ~ C108)	梅雨 (8, D101 ~ D108)
	11:10 ~ 12:30	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, A会場(35, P101 ~ P135))		ポスター会場で講演) B会場(36, P136 ~ P171)	
	13:30 ~ 17:00	専門分科会 「大気境界層研究の現状と将来展望」 (5, A151 ~ A155) (28, P237 ~ P264)	専門分科会 「力学を介しての横断的理解」 (13, B151 ~ B163)	専門分科会 「雲微物理特性と放射収支」 (12, C151 ~ C162) (5, P265 ~ P271)	専門分科会 「歴史的海上気象観測資料(神戸コレクション)のデジタル化と研究の展望」 (15, D151 ~ D165)
5月22日 (木)	09:15 ~ 10:30	気候システムI (6, A201 ~ A206)	物質循環II (6, B201 ~ B206)	熱帯大気I (7, C201 ~ C207)	地域環境 (7, D201 ~ D207)
	10:40 ~ 12:00	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, A会場(23, P201 ~ P223))		ポスター会場で講演) B会場(13, P224 ~ P236)	
	13:00 ~ 14:10	総会			
	14:20 ~ 15:30	東アジア気象学会交流会			
	15:45 ~ 17:30	学会賞・藤原賞受賞記念講演			
	18:00 ~ 20:00	懇親会			
5月23日 (金)	09:15 ~ 11:30	気候システムII (11, A301 ~ A311)	降水システムII (10, B301 ~ B310)	熱帯大気II (12, C301 ~ C312)	大気力学・中層大気 (10, D301 ~ D310)
	11:40 ~ 13:00	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, A会場(35, P301 ~ P335))		ポスター会場で講演) B会場(36, P336 ~ P371)	
	14:00 ~ 17:00	シンポジウム「ヒートアイランド—熱帯夜の熱収支—」			
5月24日 (土)	09:15 ~ 11:00	物質循環III (9, A401 ~ A409)	気象予報 (9, B401 ~ B409)	大気境界層 (7, C401 ~ C407)	降雪 (9, D401 ~ D409)
	11:10 ~ 12:30	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, A会場(35, P401 ~ P435))		ポスター会場で講演) B会場(36, P436 ~ P471)	
	13:30 ~ 17:00	専門分科会 (15, A451 ~ A465) 「北極振動と中高緯度大気循環」	専門分科会 (5, B451 ~ B455) 「熱帯アジアモンスーンオンセットのメカニズム理解に向けて」	専門分科会 (5, C451 ~ C455) 「気象予報士としての仕事と社会貢献」	

発表件数 : 488 件 (専門分科会 70, 口頭発表 134, ポスター 284)

大会参加費 : 郵便振替による前納の場合 一般会員 3,000 円, 学生会員 2,000 円 ;

当日受付の場合は 一般会員 4,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 4,000 円。

ただし, 自費で最終日 (5月24日) にだけ参加する方については, 会員・非会員とも 2,000 円とします (この場合, 前納はできません。当日受付にてお払い下さい)。

懇親会費 : 郵便振替による前納の場合 一般会員 5,000 円, 学生会員 4,500 円 ;

当日払いの場合は 一般会員 5,500 円, 学生会員 5,000 円, 非会員 5,500 円。

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いいたします。

なお郵便振替用紙は「天気」2002年12月号の末尾に挿入されたものを使い, 5月8日(木)までに振り込んで下さい。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail:org-msj@mri-jma.go.jp) まで。

## 講演の方法

### 専門分科会

- ・持ち時間は各分科会毎に決められています。詳細は各分科会のプログラムをご覧ください。

### 一般口頭発表

- ・持ち時間は **10分**（講演 8分・質疑 2分）です。

### ポスター発表

- ・各口頭会場で概要紹介（**1件30秒以内**）の後、ポスター会場で講演を行います。
- ・講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ・ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、**幅 1.0m×高さ 2.1m**となっています。
- ・ポスターの掲示にあたって**紙、ピンが使用できるが、糊、テープ等は使用できません。**必要な紙、ピンは**各自で用意**して下さい。
- ・ポスターの掲示可能時間は以下のとおりです。
  - ー一、二日目の発表者は 5月21日 09:15 - 22日 17:00
  - ー三、四日目の発表者は 5月23日 09:15 - 24日 17:00

### 機器の使用について

#### ●専門分科会・一般口頭発表

- ・OHPとPCプロジェクターが使用できます。
- ・**PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。**
  - ーPCプロジェクターの使用を希望する場合は、必ず当該セッション開始前の休憩時間に、当該会場で会場係へその旨を申し出て下さい。
  - ーパソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
  - ーセッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、開始前に会場係に申し出て下さい。
  - ー突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で、発表順を繰り下げたりOHPによる発表に切り替えさせて頂くことがあります。このため、最低限の発表が出来るだけのOHPシートも用意しておいて下さい。

#### ●ポスター発表

- ・概要紹介はOHPのみ使用できます。
- ・ポスター会場での機器の使用は講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

## 総 会

日時：大会第2日（5月22日）13:00～14:10

会場：つくば国際会議場大ホール

### 議事次第：

- 1.開会の辞
- 2.議長選出
- 3.理事長挨拶
- 4.学会賞授与
- 5.藤原賞授与
- 6.2002年度事業報告
- 7.2002年度会計報告
- 8.2002年度監査報告
- 9.2003年度日本気象学会総会議案
- 10.2003年度事業計画案
- 11.2003年度予算案の審議
- 12.議長解任

## 東アジア気象学会交流会

日時：大会第2日（5月22日）14:20～15:30

会場：つくば国際会議場大ホール

司会：住 明正（東京大学気候システム研究センター）

### 趣旨

東アジアに位置する日本・韓国・中国は、同じような気象現象にさらされ、また、興味や関心も似たようなものがあります。最近では、日中、日韓などの研究交流は盛んに行われるようになってきました。さらに、このような交流を気象学会のレベルでも進めたらどうかという提案が、故文プサン大学教授、韓国気象庁長官からなされました。気象学会国際交流委員会では、韓国気象学会、中国気象学会との協議を進めてきましたが、年に1回、それぞれの学会の代表が持ちまわりで総会を訪問し、それぞれの学会の最近の状況を伝えたり、最新の成果を発表することで、交流を進めていこうという合意がなされました。

その最初の試みとして、2003年度春季大会に東アジア気象学会交流会を持つことになりました。会員の皆さんのご参加をお願いいたします。

### 講演

講師：Prof. Jong-Ghap Jhun（韓国気象学会長、ソウル大学教授）

題目：Introduction to New East-Asian Monsoon Indices

講師：Prof. Ronghi Huang（中国気象学会副理事長、中国科学院大気物理研教授）

題目：The Interdecadal Variation of East Asia Climate System and the prolonged Drought in North China

## シンポジウム「ヒートアイランド－熱帯夜の熱収支－」

日時：大会第3日（5月23日）14:00～17:00

会場：つくば国際会議場大ホール

司会：木村富士男（筑波大学地球科学系）

### 趣旨

毎年夏になるとヒートアイランドに関連する話題が報道されることが多くなりました。暑い日が続くと、暑さに関係した話題がうけるのでしょうか。また地球温暖化問題とも関連があると思われます。さらに最近では都市の気温だけでなく、雷雨や豪雨との関連についても社会的関心が向けられています。ヒートアイランドに関する研究は気象学や地理学だけでなく、建築土木造園といった工学系でも極めて盛んであり、省エネルギーや二酸化炭素の排出とも絡めて、学際的な研究が進められています。建築素材の熱特性などのミクロな視点から、地球温暖化との関連などのマクロな視点まで、実に多様な都市気象に関連する研究分野の中から、都市規模の現象に着目した話題を集めて討論します。都市規模の現象では気象学の果たす役割がとくに大きいと思われます。なかでも、過去の研究ではなかなか定量的にとらえることができなかった夜間の都市の熱収支について、最新の知見をふまえて議論したいと思います。都市には人類の抱える環境問題が凝縮されています。これらの議論を通して、環境問題一般に果たすべき気象学の役割についても思いをめぐらせてはいかがでしょうか。

### 基調講演

1) 「気象学からみたヒートアイランド」

講演：近藤裕昭(産業技術総合研究所)

コメント：鬼頭昭雄(気象研究所)

2) 「都市気象モデルからみた熱帯夜の形成機構」

講演：日下博幸(電力中央研究所)・木村富士男(筑波大学)

コメント：大橋唯太(産業技術総合研究所)

3) 「観測から見た熱帯夜の形成機構」

講演：菅原広史(防衛大学校)

コメント：神田学(東京工業大学)

4) 「ヒートアイランドが降水現象におよぼす影響」

講演：藤部文昭(気象研究所)

コメント：小林文明(防衛大学校)

5) 「ヒートアイランド研究の今後と政策へのかかわり」

講演：三上岳彦(東京都立大学)

※タイトルは全て仮題です

### 総合討論

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 第21回メソ気象研究会

日時：2003年5月20日(火) (大会前日) 14:00～

場所：気象研究所講堂(茨城県つくば市長峰 1-1)

テーマ：「メソ気象研究における地球シミュレータの意義」

世話人：吉崎正憲(気象研)、坪木和久(名大地球水循環)、小倉義光(東大海洋研)

コンピーナー：中村 尚(東大理/地球フロンティア)

プログラム(暫定)：

- ・中村 尚(東大理/地球フロンティア)：趣旨説明 (THORPEXの意義も含む, 10分)
- ・大淵 濟(地球シミュレータ)：ES と AFES の概要説明 (15分)
- ・吉岡真由美(地球シミュレータ)：AFES でシミュレートされた台風 (20分)
- ・榎本 剛(地球フロンティア)：AFES でシミュレートされた梅雨前線 (20分)
- ・高谷康太郎(地球フロンティア)：AFES でシミュレートされた温帯低気圧と寒冷渦(20分)
- ・室井あし・永戸久喜(気象研)：全球メソ解像モデルと雲解像領域モデルのネスティング(20分)
- ・河谷芳雄(東大気候システム)：CCSR/NIES AGCM でシミュレートされた梅雨前線と重力波 (20分)

なお、表記された時間は目安の講演時間です。また主旨説明を除く全ての講演の後には数分の質疑応答の時間を設け、更には最後に総合討論の時間をもうける予定です。

用語説明：

AFES: Atmospheric general circulation model For Earth Simulator (地球シミュレータによる大気大循環モデル)

AGCM: Atmospheric General Circulation Model (大気大循環モデル)

CCSR: Center for Climate System Research (東京大学気候システム研究センター)

ES: Earth Simulator (地球シミュレータ)

NIES: National Institutes for Environmental Studies (国立環境研究所)

THORPEX: The Observing-system Research and Predictability Experiment

### オゾン研究連絡会

日時：2003年5月21日(水) セッション終了後から2時間以内

場所：つくば国際会議場 小会議室 405 (大会 D 会場)

内容：「日本と欧米の衛星搭載大気組成観測センサの状況」

### I) ILAS-II 観測の速報

講演者：横田達也(環境研)  
「リトリーバルアルゴリズムについて」

講演者：中島英彰(環境研)  
「初期結果について」

### II) EGS-AGU-EUG Joint Assembly からの報告

講演者：笠井康子(通総研)・杉田考史(環境研)  
「Odin (OSIRIS, SMR), SAGE-III, Envisat (GOMOS, MIPAS, SCIAMACHY)の観測結果」

世話人：笠井康子(通総研)、川上修司、河本望(NASDA/EORC)、杉田考史(環境研)、村田功(東北大)

連絡先：村田功(東北大)

TEL: 022-217-5776, FAX: 022-217-5775,  
E-mail: murata@pat.geophys.tohoku.ac.jp

### 極域・寒冷域研究連絡会

日時：2003年5月23日(金) 17:15～2時間程度

場所：つくば国際会議場(大会会場) 小会議室 303 (3F)

話題：

1. 43 次隊(第 VI 期) 越冬報告  
ーラジオゾンデ集中観測・オゾンゾンデ比較観測についてー 吉識宗佳(京大)
2. 最近の南極観測隊の成果より  
--第 V 期 (1997-2001) を中心として--  
「『南極大気・物質循環観測計画』のねらいと今後の課題」 山内 恭(極地研)  
「ドームふじ-昭和エアロゾル変動と物質循環場」 林 政彦(福岡大)  
「ドームふじ基地からみた南極氷床上の大気循環と水の輸送」 平沢尚彦(極地研)  
「カタバ風帯の大気構造--航空機観測から」 和田 誠(極地研)  
「昭和基地における大気微量成分観測」 森本真司(極地研)

今回は、南極に関する話題の特集です。実際に南極観測に携わった方々から、最新の成果を紹介して頂きます。前半は、先の冬の43次隊(第VI期)の越冬報告です。後半は、5名の方々に、第V期(1997-2001)南極観測隊の成果を中心に報告をして頂きます。

代表：木村龍治(東大海洋研)

世話人：平沢尚彦(極地研)、中村 尚(東大理)、浮田甚郎(米国航空宇宙局)、高田久美子(地球フロンティア)、阿部彩子(東大気候システム)、佐藤 薫(極地研)、本田明治(地球フロンティア)、齋藤冬樹(東大気候システム)、高谷康太郎(地球フロンティア)

問い合わせ先：高谷康太郎(地球フロンティア)

TEL: 045-778-5526, FAX: 045-778-5707,  
E-mail: takaya@jamstec.go.jp

## 秋季大会の予告

2003年度秋季大会は、2003年10月15日(水)～17日(金)に宮城県民会館・勾当台会館(仙台市)で開催される予定です。

## 大会第1日 [5月21日] 09:30 ~ 11:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A 会場

## B 会場

## 物質循環I

座長：北 和之(茨城大理)

- A101 北和之(茨城大理)・近藤豊(東大先端研)他 7 名 大気硝酸計測用小型質量分析装置の開発(2)
- A102 小池真・升井幸男(東大院理)他 7 名 FTIR によって観測された対流圏一酸化炭素の季節変化とその要因
- A103 筈井康子(通総研)・遠藤真紀(東大海洋研)他 1 名 アラスカ州フェアバンクス・ポーカークラフトにおける対流圏 CO の観測
- A104 大島長・小池真(東大理)他 春季西太平洋域で観測された自由対流圏中での人為起源物質の増大 PEACE-B 航空機観測
- A105 近藤豊・宮崎雄三(東大先端研)他 11 名 西太平洋域におけるオゾン光化学の季節変動:PEACE 航空機観測
- A106 北和之(茨城大理)・近藤豊(東大先端研)他 冬季～春季における日本南部・東シナ海域における対流圏オゾンと一酸化炭素の相関
- A107 村山昌平・田口彰一(産総研)他 1 名 大気輸送過程が大気中 CO<sub>2</sub> 濃度の経年増加率に及ぼす影響(その2)
- A108 高村近子・村山昌平(産総研)他 3 名 冷温帯落葉広葉樹林における土壌呼吸と夜間の正味生態系交換量との関係

## 降水システムI

座長：小林文明(防大地球科学)

- B101 津口裕茂・榊原均(気象大) 2001 年 10 月 10 日に低気圧域内で発生した佐原・鹿嶋の豪雨-レインバンドの内部構造と維持機構-
- B102 大沼啓人・林広樹(岐阜地方気象台) 東海豪雨と博見豪雨に見られる急激なクラウドクラスタの形成
- B103 小林文明(防大地球科学)・土屋修一(中央大)他 1 名 2002 年 10 月 7 日横須賀の突風災害(1)-メソスケールの特徴-
- B104 小林文明・藤田博之(防大地球科学)他 1 名 2002 年 10 月 7 日横須賀の突風災害(2)-被害特性-
- B105 中田隆・城岡竜一(地球観測フロンティア)他 8 名 2001 年 11 月 29 日に西部熱帯太平洋上で発生した竜巻とその環境場について
- B106 阿部陽二(中央大院)・山田正(中央大理工) レーダ観測による関東平野における夏季の強雨域の発生・移動特性に関する研究
- B107 池本和生・久田由紀子(九大総理工)他 3 名 福岡平野内陸部における局地風の収束

## 大会第1日〔5月21日〕09:30～11:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す。)

## C 会場

## D 会場

## 中高緯度大気

座長：余田成男(京大理)

- C101 高谷康太郎(地球フロンティア)・中村尚(地球フロンティア/東大理)他2名 超高解像度全球モデルによるシミュレーションその2:中緯度の冬の低気圧
- C102 榎本剛(地球フロンティア)・中村尚(地球フロンティア/東大理)他1名 超高解像度全球大気モデルによるシミュレーションその3:梅雨前線
- C103 高井博司(岩手県環境保健研究センター)・川村宏(東北大理) マイクロ波散乱計データを用いたヤマセ時の海上風分布に関する研究(2)ーアメダス日気温偏差と海上の風向・風速との関係ー
- C104 吉野純・石川裕彦(京大防災研)他1名 Piecewise Potential Vorticity Inversion を用いた台風の衰弱・再発達に関する静的解析
- C105 櫻井麻里(名大院) トラフの変動に伴う冬型気圧配置の減少と局地風の関係について
- C106 佐藤尚毅・高橋正明(東大気候システム) 北半球中高緯度域における渦度強制が盛夏期のオホーツク海高気圧に与える影響
- C107 藤原弘章・澤井哲滋(気象大) シベリア高気圧パターンにおける新潟県の降雪分布
- C108 久慈誠(奈良女子大)・内山明博(気象研)他1名 NOAA/HRPT データを用いた南極極夜域における雲識別の研究

## 梅雨

座長：金田幸恵(AESTO/気象研)

- D101 田上浩孝・新野宏(東大海洋研)他1名 梅雨前線上のメソ $\alpha$ 擾乱に関する数値的研究～擾乱の軸が東に傾いた擾乱～
- D102 二宮洗三・榎本剛(地球フロンティア)他3名 大気気候モデル T106L52 による梅雨前線の総観～メソ $\alpha$ 規模変動
- D103 川野哲也・花田博之(九大院理)他 X-BAIU-01 期間中に九州南部を通過したメソスケール対流システムの構造と発達過程
- D104 村上正隆・森一正(気象研)他3名 航空機による梅雨前線に伴う降水雲の内部構造観測(その2)
- D105 加藤内蔵進(岡山大教育)・王亜非(中国気象科学研究院) 大陸の梅雨前線波動とメソ $\alpha$ 低気圧発生について(1999年6月27日頃の事例の解析)
- D106 耿驥(地球観測フロンティア)・上田博(地球観測フロンティア/名大地球水循環)他2名 長江下流域で観測された豪雨をもたらした降水システムの発達過程
- D107 楠昌司・伊藤明(気象庁気候情報) 梅雨の季節予報
- D108 池田祥一郎・加藤内蔵進(岡山大教育)他1名 亜熱帯高気圧域における梅雨前線への水輸送構造の変動(1998年の事例解析)

## 大会第1日〔5月21日〕11:10～12:30 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

## 概要紹介：A会場

司会：村山昌平(産総研)

- P101 野中善政・境幸夫(宮崎大教育文化)他2名 海岸における海塩粒子サイズ分布の観測と解析
- P102 松木篤(名大院環境)・岩坂泰信(名大STE研)他9名 中国北京における境界層中の粒子状物質:2002年春の係留気球実験から
- P103 山田丸・岩坂泰信(名大)他11名 敦煌上空自由対流圏のエアロゾル粒子の特徴:電子顕微鏡による個々の粒子の観察
- P104 三浦和彦・野上道守(東京理科大)他2名 都市大気エアロゾルの湿度特性
- P105 武部裕作・渡辺幸一(富山県立大短大)他5名 富士山における霧水・降水中の化学成分濃度およびオゾン、エアロゾル粒子個数濃度の測定
- P106 塩原匡貴・原圭一郎(極地研)他3名 南極観測船「しらせ」による日本周辺の洋上エアロゾル観測(1)観測計画と結果の概要
- P107 矢吹正教(千葉大/極地研)・塩原匡貴(極地研)他5名 南極観測船「しらせ」による日本周辺の洋上エアロゾル観測(2)エアロゾルの光学特性
- P108 小林祐(山梨大)・塩原匡貴(極地研)他3名 「しらせ」による日本周辺の洋上エアロゾル観測非水溶性エアロゾルの粒径分布の測定
- P109 新村典子・町田真一(東京理科大)他1名 個々のエアロゾルの水溶性物質の推定—鉍物エアロゾル(黄砂)の輸送中の変質の影響—
- P110 直江寛明・岡田菊夫(気象研) バックグランド海洋大気中における海塩粒子の変質
- P111 横田真人・近藤豊(東大先端研)他4名 東京におけるエアロゾル質量濃度の変動
- P112 財前祐二・岡田菊夫(気象研) 数値シミュレーションによる海洋エアロゾル粒径分布の再現
- P113 酒井哲(学振/気象研)・永井智広(気象研)他2名 黄砂期におけるエアロゾル・氷雲・水蒸気鉛直分布の観測
- P114 田中泰直・黒崎泰典(気象研)他4名 秋の黄砂: エアロゾル数値モデルを用いた2002年秋季の解析
- P115 山本亨(国土環境)・黒崎泰典(気象研)他4名 東アジア域におけるDust Outbreakと正規化植生指数、積雪被覆との関係について
- P116 荒生公雄・古園久也(長崎大)他7名 長崎地方における2002年の黄砂現象の特徴
- P117 五十嵐弘道(地球フロンティア)・王勤学(環境研)他2名 中国・日本における黄砂現象の長期変動について
- P118 向井真木子・中島映至(東大気候システム)他1名 気候モデルを用いた黄砂現象の長期変動に関する研究
- P119 堤之賀・森下秀昭(気象庁環境気象)他4名 2002年4月の日本での黄砂によるエアロゾル光学的厚さの変動とオングストローム指数の関係について
- P120 宏永数明・木田秀次(京大理) 積雲対流による物質の鉛直輸送に関する数値実験
- P121 出生真・柴田清孝(気象研) 気象研究所化学輸送モデルの改良および感度実験
- P122 河原卓(東北大院理)・菅原敏(宮城教育大)他4名 成層圏における六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)濃度の変動
- P123 渡井智則(地球・人間環境フォーラム)・町田敏暢(環境研)他5名 西部北太平洋対流圏における冬季および春季の二酸化炭素濃度空間分布
- P124 森本真司・和田誠(極地研)他5名 南極・昭和基地における一酸化炭素濃度の連続観測
- P125 渡邊匡史・森征洋(香川大院教育) 女木島における局地的強風「オトシ」について—現地観測と数値シミュレーション—
- P126 内田孝紀・大屋裕二(九大応力研) 地域気象モデルCSU-RAMSと局地的風況予測モデル RIAM-COMPACTの接続法に関する研究
- P127 足立幸穂・丸山健人(学芸大)他1名 浜松における海陸風と光化学オキシダント濃度の関係
- P128 上野健一・寺島司(滋賀県立大環境科学)他1名 局地循環の影響を受けた琵琶湖湖岸でのヒートアイランド現象
- P129 菅原広史・川原誠(防大) 都市キャノピー層における気温変化の減衰について
- P130 太久保篤・川上正志(東京管区気象台)他 冬季の長野県諏訪地域での著しい低温を伴う気温変動現象
- P131 植田宏昭・堀正岳(筑波大地球科学)他1名 筑波山の斜面温暖帯
- P132 藤原禎(筑波大環境科学)・朴恵淑(三重大人文)他1名 濃尾平野におけるNO<sub>2</sub>の分布観測と地上風の解析
- P133 川島茂人(農環研) 米沢盆地における夏期高温時の気温分布と風系の関係
- P134 藤吉康志(北大低温研)・岸寛人(北大院地球環境) 東北から北海道周辺に発生する霧の出現機構(I)
- P135 中川清隆・立川洋(上越教育大自然)他3名 海風侵入時刻の変動と気象条件の統計的關係



## 大会第1日〔5月21日〕11:10～12:30 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

## 概要紹介：B会場

司会：永戸久喜(気象研)

- P136 松本優子・中山大地(都立大理)他1名 台風移動指数の提案～台風経路の定量的評価と異常経路の抽出に関する研究～
- P137 鈴木健太郎・中島映至(東大気候システム) Galerkin法による雲微物理過程のモデリング
- P138 井口享道・中島映至(東大気候システム)他1名 3次元雲解像モデルによる雲凝結核数に対する雲水量・降水量感度実験
- P139 和田英子・橋口浩之(京大宙空電波)他3名 ミリ波ドップラーレーダーとMUレーダーによる巻雲の観測
- P140 植松明久・橋口浩之(京大宙空電波)他5名 ミリ波ドップラーレーダー・ドップラーソーダーによる鉤路における霧の観測
- P141 S.-G. Park・M. Maki(防災科研)他3名 Attenuation correction of radar intensity measurements by rainfall at X-band polarimetric radar
- P142 荒木孝輔・柴垣佳明(大阪電通大)他 ウインドプロファイラー観測に基づいた梅雨前線近傍の降水システムの特徴
- P143 牛山朋来・城岡竜一(地球観測フロンティア)他7名 PALAU2002の航空機とレーダーによって捉えられたライン状降水雲の数値実験
- P144 森一正・村上正隆(気象研)他3名 梅雨前線に伴うMCSの航空機観測－X-BAIU02:2002年6月28日の事例(序報)－
- P145 中村綾子・上田博(名大地球水循環)他 降水セルから見た甌島北東側で観測された線状降水系の特徴－2002年7月1日09～13時の事例－
- P146 河内悠・守田治(九大院理) 梅雨前線に沿って東西に並ぶ円形雲クラスターの発達過程
- P147 出世ゆかり・坪木和久(名大地球水循環) 中国大陸上で発生した積乱雲の水分配特性～特に総降水量と降水効率について～
- P148 北島尚子(気象研) 温帯低気圧化する台風とその周辺の総観規模前線の特徴
- P149 阿部陽一・土屋修一(中央大院)他1名 レーダ観測による関東平野における降雨分類と夏期の降雨発生地点
- P150 鈴木博人(東日本旅客鉄道)・高橋日出男(東京学芸大) 関東平野における降雨量の空間代表性
- P151 渡辺明(福島大教育) 2002年7月10日の豪雨について
- P152 清水崇博(日大院地球情報) 富士山に発生する笠雲・旗雲の発生メカニズム
- P153 川瀬宏明(筑波大生命環境科学)・木村富士男(筑波大地球科学) 冬の日本列島南海面上に見られる筋状雲の出現特性
- P154 清水健作・坪木和久(名大地球水循環) 2000年12月26日に北陸沖で観測されたTモード降雪バンドの形成過程
- P155 山本浩嗣(気象庁観測) 気象庁ウィンドプロファイラ(WPR)が捉えた冬季日本海に発生した渦状擾乱
- P156 柳瀬亘・新野宏(東大海洋研) 理想化した系におけるポーラーロウの数値実験
- P157 石井昌憲・水谷耕平(通総研)他11名 航空機搭載コヒーレントドップラーライダー観測
- P158 福井哲央・植田洋臣(京大防災研)他1名 MUレーダーを用いた自由大気中の乱流拡散に関する研究
- P159 秋田健二・鷹野敏明(千葉大院自然)他8名 雲粒子観測用95GHzFM-CWレーダの感度
- P160 河村洋平(千葉大工)・須賀弓郎(千葉大院自然)他5名 雲粒子観測用95GHzFM-CWレーダのデータ取得法と効率
- P161 岩波越(防災科研)・Kim Hyo-kyung(韓国釜慶国立大)他6名 2波長雲レーダーによる雲水量のリターン
- P162 高橋暢宏・中川勝広(通総研)他4名 通信総研沖縄偏波降雨レーダ(COBRA)による降水システムの観測－レーダの基本性能の確認および雲物理パラメータの推定－
- P163 花土弘・中川勝広(通総研)他5名 通信総研沖縄偏波降雨レーダ(COBRA)へのパルス圧縮機能付加－気象レーダのための低レンジサイドローブパルス圧縮技術の開発－
- P164 山田芳則(気象庁数値予報) 1台のドップラーレーダーデータから風速3成分を算出する試み
- P165 関澤信也・足立樹泰(通総研) レーダにおけるPN符号を用いたパルス圧縮法の提案
- P166 柴田康生(東京電力)・平井重雄(カイジョー)他9名 風況調査用小型ドップラーソーダの開発
- P167 阿部尚子(泰日協会学校, タイ)・森厚(東京学芸大)他1名 超音波を用いた雲水量の測定方法の検討
- P168 森本健志・河崎善一郎(大院)他1名 雷嵐観測用VHF波帯広帯域干渉計の開発－雷放電路と雷雲構造－
- P169 山下克也・林政彦(福岡大理)他2名 無人航空機を用いた大気エアロゾル観測システム
- P170 中瀬哲夫・星野俊介(気象研)他2名 国産無人気象観測機による風算出法
- P171 島村雄一・泉岳樹(都立大理)他1名 衛星同期観測に基づく広域積雪分布と山地積雪水当量のリモートセンシング－新潟上越国境周辺を事例に－

## 大会第1日 [5月21日] 13:30 ~ 17:00 専門分科会

(~~~~は講演者を表す。)

### A 会場

#### 「大気境界層研究の現状と将来展望」

趣旨説明 (5分)

座長：渡辺 力(森林総研)

ポスター概要紹介 (20分) ※ポスター会場での発表は大会第2日目に行われます

- P237 樋口篤志(名大地球水循環)・田中賢治(京大防災研)他 琵琶湖プロジェクト2002年集中観測(Catch A Plume by SATs: CAPS);その概要
- P238 石田祐真(弘前大理工)・樋口篤志(名大地球水循環)他 複数の乱流計測機を用いた乱流熱輸送量空間分布観測の概要—琵琶湖プロジェクト2002年集中観測(CAPS)—
- P239 小野圭介・宮田明(農環研)他2名 Open-path IRGA の校正と機種間比較
- P240 森脇亮・木本由花(東工大)他1名 都市接地境界層における運動量のシア一関数
- P241 中村麗奈・L. Mahrt(Oregon State Univ., USA) Investigation of Intermittent Nocturnal Turbulence with Fixed-Point Measurements
- P242 藤田廣真(長大院)・小林哲夫(九大農院)他2名 冷気流の流下に伴う加速・減速と風速プロファイルの関係について
- P243 広田知良・岩田幸良(北海道農研)他3名 凍結土壌下の水分動態は降水と蒸発ではなく大気と積雪の熱の作用によって変動する
- P244 永井秀幸(農環研)他7名 慣行単作水田で観測された乱流フラックスとエネルギークロージャーの季節変化について
- P245 吉本真由美(農環研)・大上博基(愛媛大)他1名 高CO<sub>2</sub>濃度に対する水稻群落の応答とそれが群落熱収支に及ぼす影響
- P246 藤田美歩(パスコ)・浅沼順(筑波大陸域環境)他1名 草原における顕熱・潜熱・CO<sub>2</sub>フラックスの季節変化と植生との関わり
- P247 三枝信子・山本晋(産総研)他5名 フラックス観測による生態系レベルでの生物反応の検出とその解釈—苫小牧フラックスリサーチサイト(カラマツ林)におけるCO<sub>2</sub>、水蒸気フラックス長期観測—
- P248 平野高司・平田竜一(北大院農)他2名 カラマツ林における冬季積雪条件でのCO<sub>2</sub>フラックス
- P249 吉越寛・永井秀幸(農環研)他6名 水田のメタンフラックス観測における群落貯留
- P250 冨本薫(筑波大自然学類)・浅沼順(筑波大地球科学)他1名 大口径シンチロメーター(LAS)を用いた収穫後の水田における顕熱フラックスの測定
- P251 小谷亜由美(筑波大院生命環境)・杉田倫明(筑波大地球科学)他3名 地目混在地域における広域熱フラックスと地表面被覆との関係
- P252 高田久美子(地球フロンティア)・矢吹裕伯(地球観測フロンティア)他7名 1次元陸面水文モデルによるツンドラ域の地表面熱・水・CO<sub>2</sub>フラックスの推定と蒸散量の検証

招待講演 (持ち時間1件25分)

- A151 玉川一郎(岐阜大流域圏科学)・GAME-Tibet 境界層グループ GAME-Tibet 乱流観測に見る問題点について
- A152 神田学(東工大)・渡辺力(森林総研) 大気乱流の組織構造とエネルギーインバランス問題
- A153 原藤芳信(アラスカ大北極圏)・宮田明(環境研) Characteristics of Arctic winter fluxes induced by winds

休憩 (15分)

座長：浅沼 順(筑波大陸域環境)

ポスター概要紹介 (15分) ※ポスター会場での発表は大会第2日目に行われます

- P253 平沢尚彦(極地研)・林政彦(福岡大理)他1名 南極内陸の惑星境界層
- P254 樋口篤志・檜山哲哉(名大地球水循環)他 無人気象観測機(Aerosonde)による亜熱帯海洋上での大気境界層観測
- P255 渡井賢則(地球・人間環境フォーラム)・町田敏暢(環境研)他3名 西シベリア・ペレゾレチカにおける大気境界層内とその上空のCO<sub>2</sub>濃度観測(1) —大気境界層内CO<sub>2</sub>濃度変動のタワー観測—

- P256 森泉純・青島弘幸(名大院工)他 6 名 西シベリア・ベレゾレチカにおける大気境界層内とその上空の CO<sub>2</sub> 濃度観測(2) - 大気中ラドン 222 濃度変動のタワー観測 -
- P257 町田敏暢(環境研)・O.A. Krasnov(トムスク大気光学研)他 3 名 西シベリア・ベレゾレチカにおける大気境界層内とその上空の CO<sub>2</sub> 濃度観測(3) - 航空機を利用した CO<sub>2</sub> 濃度の鉛直分布観測 -
- P258 下山宏・町田敏暢(環境研)他 3 名 西シベリア・ベレゾレチカにおける大気境界層内とその上空の CO<sub>2</sub> 濃度観測(4) - 夏季集中観測における CO<sub>2</sub> 濃度鉛直分布日変化 -
- P259 清水厚・杉本伸夫(環境研)他 1 名 自由対流圏から境界層内へ取り込まれるエアロゾルのライダーによる観測
- P260 松井一郎・杉本伸夫(環境研)他 3 名 ミー散乱ライダーによる熱帯海洋上での大気境界層高度と遷移層厚さの観測
- P261 戸田求(学振/森林総研)・渡辺力(森林総研) 地表面の不均一性が対流境界層の乱流輸送に及ぼす影響
- P262 Kun Yang・Toshio Koike(Department of Civil Engineering/The Univ. of Tokyo) Modeling convective structure in the boundary layer over the Tibetan Plateau
- P263 桑形慎男(農環研) GAME-Tibet IOP 期間中におけるチベット高原上の日中の大気昇温量と地表面熱収支
- P264 浅沼順(筑波大陸域環境)・上米良秀行(長岡技術科学大院) 我が国におけるパン蒸発量の長期トレンドについて

### 招待講演 (持ち時間 1 件 25 分)

- A154 横山哲哉(名大地球水循環)・浅沼順(筑波大陸域環境)他 3 名 GAME-Siberia の大気境界層研究 - 航空機観測のハイライト -
- A155 篠田太郎・上田博(名大地球水循環) 降水のオンセットに影響を与える陸面・大気境界層過程 ~ GAME/HUBEX 観測領域を対象として ~

### 総合討論 (30 分)

## B 会場 「力学を介しての横断的理解」

座長：林 祥介(北大院理)

- B151 阿部豊(東大院理)・阿部彩子(東大気候システム)他 1 名 自転軸傾斜と地表面状態が惑星上の水循環に及ぼす影響：さまざまな惑星上での生存可能性の解明に向けて
- B152 高橋芳幸・藤原均(東北大院理)他 3 名 大気大循環モデルを用いた火星大気大循環の数値実験
- B153 石渡正樹(北大院地球環境)・中島健介(九大理)他 2 名 灰色大気の平衡状態の太陽定数依存性：暴走温室状態から全球凍結状態まで
- B154 曽根洋平・松田佳久(東大院理) 火星大気における熱潮汐波
- B155 佐藤正樹(地球フロンティア/埼玉工大)・那須野智江(地球フロンティア) 積雲解像モデルによる放射対流平衡計算の標準実験
- B156 中島健介(九大理) 地球惑星流体における「雲対流」

### 休憩 (15 分)

座長：高木征弘(東大院理)

- B157 北村祐二・松田佳久(東大院理) 成層乱流における乱流パラメタリゼーションの影響
- B158 杉本憲彦・余田成男(京大理) f 平面浅水系におけるバランス力学について
- B159 小坂洋介・松田佳久(東大理) PJ パターンの出現における基本場の重要性
- B160 佐藤尚毅・高橋正明(東大気候システム) 盛夏期の亜熱帯ジェット上におけるユーラシア/北太平洋パターンの出現に関連する内部力学過程
- B161 岩崎俊樹・田中久介(東北大院理) 温位座標に基づく Eliassen-Palm flux の解析
- B162 高藪出(気象研)・竹広真一(九大) Eady 解への過剰反射の適用について
- B163 本村龍治(東大海洋研) 共通言語による気象の理解

\*1 件あたりの持ち時間は B 151, B 156, B 163 が 24 分, その他の講演は 12 分です

## 大会第1日 [5月21日] 13:30 ~ 17:00 専門分科会

(~~~~は講演者を表す.)

## C会場

## 「雲微物理特性と放射収支」

## 概要紹介

岡本創(東北大院理) 雲微物理と放射収支に関する諸問題について

## 第一部

座長：岡本 創(東北大院理)

- C151 浅野正二(東北大院理) 下層雲の微物理特性と放射特性:JACCS 観測のレビュー  
 C152 早坂忠裕・河本和明(地球研)他1名 過去20年間の東アジアにおける雲とエアロゾルの変動について  
 C153 中島映至・関口美保(東大気候システム)他11名 東アジア域のエアロゾルの直接、間接の放射強制について  
 C154 中島孝(NASDA)・中島映至(東大気候システム)他2名 宇宙から観測する雲特性  
 C155 久芳奈遠美・岩淵弘信(地球フロンティア)他1名 非降水性の層雲の光学的性質と雲粒数密度のパラメタリゼーションおよびCCN数密度のリトリーバル手法(2)  
 C156 對馬洋子(地球フロンティア)・木本昌秀(東大気候システム)他1名 年変動におけるモデルの solar cloud feedback と水・氷雲の表現

## ポスター概要紹介 ※ポスター会場での発表は大会第2日目に行われます

- P265 吉田幸生・浅野正二(東北大院理) 混合相層積雲の放射特性に関するシミュレーション  
 P266 堤玉安正・益田晴菜(弘前大理工)他1名 冬季中緯度北西太平洋上の降水雲の雲物理的構造— TRMm マルチセンサー観測データの解析—  
 P267 井口享道・中島映至(東大気候システム)他2名 APEX E-2 雲観測データによる雲解像モデル結果の検証  
 P268 辻岡直也・高村民雄(千葉大 CEReS)他3名 雲水量と全天日射量の同時観測による雲粒有効半径の推定  
 P269 西澤智明・岡本創(東北大院理)他3名 MIRAI MR01/K02 観測期間における雲層下エアロゾル  
 P270 岩崎杉紀(地球観測フロンティア)・花土弘(通総研)他4名 14GHz レーダを用いた 95GHz レーダの減衰補正方法と雨滴粒径分布の導出  
 P271 鷹野敏明・須賀弓郎(千葉大院自然)他9名 雲粒子観測用 95GHz FM-CW レーダによる初期観測結果

## 休憩 (20分)

## 第二部

座長：中島 孝(NASDA)

- C157 鈴木健太郎・中島映至(東大気候システム) 数値モデルと衛星観測を用いた雲-エアロゾル相互作用の研究  
 C158 内山明博・山崎明宏(気象研)他2名 APEX-E1,E2 の航空機で観測したエアロゾルの湿度特性"  
 C159 石坂隆・風岡亮(名大地球水循環)他3名 雲周辺の雲粒核が雲の微物理学的性質に及ぼす影響について  
 C160 熊谷博・亀井秋秀(通総研)他3名 95GHz 雲レーダ観測と受動センサとのシナジー解析  
 C161 杉本使夫・松井一郎(環境研)他1名 ライダーによる海洋上の積雲、層積雲の観測  
 C162 藤吉康志(地球フロンティア/北大低温研)・吉田一穂(北大院地球環境)他8名 北極域の雲科学(I)

\*1件あたりの持ち時間は口頭発表が13分、ポスター概要紹介は4分です。

## D 会場

### 「歴史的海上気象観測データ(神戸コレクション)のデジタル化と研究の展望」

座長：加納裕二(気象庁海洋気象)

#### 1. 歴史的海上気象観測データの意義

趣旨説明 山元龍三郎(京大名譽教授) 歴史的海上気象観測データの意義

D151 上井哲也(気象庁海洋気象)・石川高照(神戸海洋気象台) 神戸コレクションと国内外の歴史的データについて

#### 2. デジタル化と品質管理

D152 岡田弘三・渡邊好弘(気象協会) 歴史的海上気象資料のデジタル化(II)

D153 小司晶子・石井正好(気象庁海洋気象)他 2 名 神戸コレクションの品質管理と露点温度に見られるデータ品質の特徴

#### 3. 現在までに得られた成果

座長：岡田弘三(気象協会)

##### (気温・水温・気候)

D154 山元龍三郎(京大名譽教授) 歴史的海上気象観測の気温データの特徴

D155 友定彰(中央水研) 神戸コレクションと漁海況データセット—日本周辺海域の海面水温・気温の 20 世紀初頭と末の比較—

D156 服部友則・轡田邦夫(東海大海洋) COADS/KoMMeDS 統合データを用いた北太平洋—北大西洋における海面水温の長期変動

D157 石井正好・小司晶子(気象庁海洋気象)他 2 名 海面水温ならびに海上気象要素の客観解析データベース：COBE

D158 見延庄士郎(北大院理/地球フロンティア)・前田厚(北大院理) 新 SST 格子データによる気候レジームシフトの描像

D159 安中さやか・花輪公雄(東北大院理) レジームシフトの季節発展

座長：花輪公雄(東北大院理)

##### (海上風・フラックス・冷夏・海水)

D160 岩坂真人(東京商船大) 船舶による海上風観測値の NSCAT 海上風観測値による誤差評価

D161 轡田邦夫・服部友則(東海大海洋) 北半球中緯度海域における海上風長期変動の解析

D162 谷本陽一(地球フロンティア/北大院理)・中村尚(地球フロンティア/東大院理)他 2 名 線形化海面フラックスデータをを用いた大気海洋相互作用の研究

D163 内田洋平(気象協会)・山元龍三郎(京大名譽教授) 歴史的船舶気象データを用いた冷夏と海洋変動の関連性の研究

D164 松本隆則・石井正好(気象庁海洋気象) 海氷データベースの作成と海面水温客観解析への利用

座長：山元龍三郎(京大名譽教授)

#### 4. 総合討論(今後の利用方策)

D165 花輪公雄(東北大院理) 神戸コレクション・デジタル化事業の意義と今後—さらなるデータの掘り起こしを

総合討論

\*1 件あたりの持ち時間は 12 分です。

## 大会第2日〔5月22日〕09:15～10:30 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A 会場

## 気候システムI

座長：山崎信雄(気象研)

- A201 大和田道雄(愛知教育大)・畔柳洋子(名大院) 北半球における Zonal index の季節別経年変動について
- A202 吉野正敏(国連大)・大和田道雄(愛知教育大)他 1 名 東アジアの春季におけるトラフの変動傾向について
- A203 大和田春樹(東大院) 1979 年 7 月の黄土高原に降水をもたらした大気場の事例的解析
- A204 上野健一(滋賀県大環境科学)・CEOP/Tibet 観測グループ チベット高原の降水に影響を及ぼす中緯度循環場に関する事例解析
- A205 石川由紀・大和田道雄(愛知教育大) 東アジアにおける亜熱帯高圧帯の北東シフトと帯状流の変動傾向
- A206 菅野洋光(東北農業研究センター) 稚内と仙台の気圧差に認められる 5 年周期変動について

## B 会場

## 物質循環II

座長：今須良一(東大気候システム)

- B201 今須良一(東大気候システム)・Vyacheslav Zakharov(ロシアエネルギー技術研)他 1 名 IMG/ADEOS データから解析された HDO の緯度分布
- B202 田代朋之・今須良一(東大気候システム)他 1 名 代替フロン物質 HFE の濃度分布と 3 次元計算による GWP
- B203 太田芳文・今須良一(東大気候システム) 衛星搭載赤外センサーによるオゾン空間分布導出手法の検討
- B204 杉田孝史・中島英彰(環境研)他 5 名 ILAS バージョン 6.0 のデータ質評価
- B205 秋吉英治・新村隆史(環境研)他 3 名 臭素系不均一反応の北極域オゾン破壊への影響と極渦崩壊時期との関連
- B206 忠鉢繁(気象研)・宮川幸治(高層気象台)他 1 名 稚内におけるオゾン特別観測 (第 3 報；極渦内大気の検知)

## C 会場

## 熱帯大気I

座長：富田智彦(熊本大理)

- C201 城岡竜一・岩崎杉紀(地球観測フロンティア)他 11 名 PALAU2002 における航空機観測
- C202 久保田尚之・城岡竜一(地球観測フロンティア)他 6 名 季節内振動通過後の大気の鉛直構造
- C203 竹見哲也・平山修(大阪大工) 熱帯海域の積雲対流に及ぼす湿度プロファイルの重要性
- C204 寺尾徹(大阪学院大情報)・久保田拓志(京大院理) El Nino 終息後のインド洋・太平洋海面水温の東西コントラストと台風生成抑制メカニズム
- C205 清木亜矢子・高数縁(東大気候システム) 西風バーストと MJO との統計的關係
- C206 山崎信雄(気象研) 東インド洋と西太平洋の対流活動の關係
- C207 釜塚弘隆・山崎信雄(気象研)他 1 名 JRA-25 長期再解析プロジェクト---インド洋における熱帯低気圧の再現---

## D 会場

## 地域環境

座長：山崎 剛(地球観測フロンティア)

- D201 大沼啓人(岐阜地方気象台) 関東甲信地方に見られた力学的フェーン現象による高温
- D202 常松展充・甲斐憲次(名大院環境) 夏季晴天日の濃尾平野における収束雲の環境気象学的研究
- D203 堀見浩・川島儀英(気象研)他 4 名 風洞を用いた三宅島火山ガスの拡散実験
- D204 水野裕介・藤田高士(名大院環境)他 3 名 名古屋で採取されたエアロゾルの季節変化と黄砂発生時の特徴について
- D205 菊地勝弘・佐々木佳明(秋田県立大生物資源)他 3 名 酸性雨に対する林内雨の季節変化
- D206 佐々木佳明・菊地勝弘(秋田県立大生物資源)他 4 名 SEM-EDX および SCHEM による葉面物質の解析
- D207 山崎剛(地球観測フロンティア)・太田岳史(名大生農)他 1 名 ルーチンデータをを用いた 1 次元モデルによるシベリアタイガ林での長期フラックス推定

## 大会第2日〔5月22日〕10:40～12:00 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す。※ P237-P271 の概要紹介は大会第1日目の専門分科会で行われます)

### 概要紹介：A会場

司会：深堀正志(気象研)

- P201 蜂巣潤・北和之(茨城大理)他 6名 冬季～春季東アジア地域で観測された窒素酸化物分布の比較
- P202 L.B.Zhou・秋吉英治(環境研)他 1名 Year-to-year variation in ozone minimum over the subtropical western Pacific region from 1996 to 2002
- P203 村松久史(名城大理工) 多重圏界面の統計的解析(3)
- P204 折戸光太郎・千葉長(気象研)他 3名 2002年9月の南半球突然昇温に伴うオゾン増加現象のモデル再現実験
- P205 宮崎和幸・岩崎俊樹(東北大院理)他 4名 3次元化学輸送モデルにより再現された成層圏オゾンー大気場の同化手法の検証ー
- P206 佐藤弘樹・北和之(茨城大理)他 8名 積雲対流を通じたインドネシアバイオマス燃焼の上部対流圏オゾンへの影響
- P207 林ひとみ・北和之(茨城大理)他 10名 BIBLE-C 航空機観測期間の熱帯域対流圏オゾンの層状増大の成因
- P208 須藤健悟・高橋正明(東大気候システム)他 1名 対流圏オゾンにおける放射強制力:化学結合 GCM による見積もり
- P209 八代尚(東北大院理)・菅原敏(宮城教育大)他 5名 日本・西シベリア上空および北太平洋上における対流圏 CO 濃度の変動
- P210 村上和隆・市井和仁(名大院環境)他 1名 地球温暖化シミュレーションのための南北一次元エネルギー・物質循環結合モデルの構築
- P211 国松洋・眞木貴史(気象庁環境気象)他 1名 輸送モデルによる大気二酸化炭素濃度変動の解析
- P212 山本勝(和歌山大教育) 輸送モデルに組み込むための金星大気硫黄循環の簡略化モデル
- P213 田中博泰(環境研)・徳永杉太(北大低温研)他 2名 森林からアラスにかけての土壌 CO<sub>2</sub>・CH<sub>4</sub> フラックス
- P214 江尻省・中島英彰(環境研)他 2名 キルナ FTIR スペクトルの SFIT2 による解析と ILAS から得た大気微量成分の高度分布の比較 2
- P215 矢萩智裕(東北大院理)・中根英昭(環境研)他 3名 三次元流跡線を用いた等価緯度ー温位面上の風系と循環の解析
- P216 蜂須賀隆友(名大理)・市井和仁(名大院環境) シンプルな炭素循環モデルを用いた将来の定常状態における炭素循環と気候の解析
- P217 西田千春・長田和雄(名大院環境)他 4名 大気境界層の上端における新粒子生成の可能性について
- P218 村田功・福西浩(東北大理)他 1名 FT-IR を用いた大気微量成分高度分布観測の精度

- P219 大島和裕・山崎孝治(北大院地球環境) 対流圏における水蒸気輸送の変動特性について
- P220 山内恭(極地研/総合研究大院極域科学)他 北極海横断航空機大気観測(AAMP 02)
- P221 濱生稔・前田高尚(産総研)他 5名 熱帯林生態系における渦相関法による生態系純交換量 NEE の測定
- P222 亀井秋秀・黒岩博司(通総研)他 1名 雲レーダーと粒子プローブによる雲同時観測
- P223 中島英彰・入江仁士(環境研)他 2名 ILAS Version6.0 による ClONO<sub>2</sub> の観測

### 概要紹介：B会場

司会：藤部文昭(気象研)

- P224 岡真一・泉岳樹(都立大理)他 1名 東京における屋上緑化可能面積の推計
- P225 竹之内健介・後藤和夫(京大)他 2名 土壌粒子発生量推定における粒径・傾斜・土壌水分量の臨界摩擦速度に対する影響評価
- P226 齋藤誠(横浜国大)・宮田明(農環研) 夏季水田における夜間の CO<sub>2</sub> 貯留量の評価
- P227 岩井駿・古本淳一(京大宙空電波)他 3名 L 帯下部対流圏レーダー・RASS を用いた温度・水蒸気プロファイルの連続観測
- P228 竹内延夫・Nofel Lagrosas(千葉大 CEReS)他 3名 自動アライメント補正ライダーによる観測データと地上測定局データとの関係
- P229 井上忠雄(筑波大環境科学)・木村富士男(筑波大地球科学) 暖候期の関東平野における積雲の出現パターンに及ぼす都市の影響
- P230 徐健責(地球フロンティア)・萩野谷成徳(気象研)他 2名 1997-98 年チベット高原の熱・水収支について
- P231 橋本篤・大澤輝夫(岐阜大院工)他 2名 風況マップ作成に向けた MM5 の計算手法に関する検討
- P232 沢田雅洋・余偉明(東北大院理) 重力流の数値実験(2)
- P233 川原誠・菅原広史(防大地球海洋)他 1名 都市キャニオン上端における熱輸送係数の推定ー冷気が進入する寒冷前線通過時と晴天日についてー
- P234 近藤裕昭(産総研) 中部日本における地上 30m 高の年間平均風速等の計算(2000 年度)
- P235 湯本道明・松浦知徳(防災科研)他 2名 防災科研における台風災害データベースシステム NIED-TD2BS の開発
- P236 中川清隆・板場智子(上越教育大自然)他 2名 気象教育支援のためのインターネット上気象画像の自動取込・観察ソフト

## 大会第3日 [5月23日] 09:15 ~ 11:30 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A 会場

## 気候システムII

座長：保坂征宏(気象研)

- A301 馬淵和雄・佐藤康雄(気象研)他 1名 地域気候モデル(JSM-BAIM)を用いた数値実験(II) - 1997年及び1998年の東アジアの気候と植生活動 -
- A302 大淵濟・新宮哲(地球シミュレータ)他 11名 超高解像度全球大気モデルによるシミュレーション その1: 概要
- A303 望月崇・木田秀次(京大院理) 黒潮親潮続流域に見られる十年規模変動の季節性
- A304 本井達夫・陳永利(地球フロンティア)他 2名 ドレーク海峡の開閉に関する気候感度数値実験
- A305 金丸由紀子・木本昌秀(東大気候システム) 大気海洋結合大循環モデルによるエルニーニョのシミュレーション: 振幅に影響を与える要因について
- A306 栗原和夫(気象研) 2002年のエルニーニョ現象の発生時期について
- A307 R.G.Ashrit・鬼頭昭雄(気象研)他 1名 Transient response of ENSO-monsoon teleconnection in MRI-CGCM2 climate change simulations
- A308 米谷恒春(琉球大) 地球温暖化途上に特徴的な大陸での突然変化とその発見
- A309 行本誠史(気象研) MRI-CGCM2による気候再現実験に現れたAOの数十年振動
- A310 内山貴雄・野田彰(気象研) 新しいエーロゾル分布を用いた温暖化予測実験
- A311 横島徳太・小高正嗣(北大院理)他 1名 火星気候システムの安定性: 大気崩壊と暴走蒸発

## B 会場

## 降水システムII

座長：大野裕一(通総研)

- B301 山岸米二郎・荒川隆(RIST)他 1名 ダウンドラフトの生成と雲微物理過程
- B302 山根彩子・水野量(気象大) ウィンドプロファイラデータを用いた融解層の実態把握
- B303 大野裕一(通総研) 95GHz 雲レーダによる降雨時の鉛直風観測
- B304 高山陽三(気象研)・佐々木政幸(NASDA) マイクロレインレーダーによる降雨の観測
- B305 山本哲・鈴木修(気象研)他 3名 ミリ波レーダー・シーロメータ・視程計等による釧路の霧の同時観測
- B306 真木雅之・朴相郡(防災科研) 規格化された雨滴粒径分布によるいくつかの考察
- B307 加藤輝之(気象研) 非静力学モデルでの熱雷予想の課題について - 2002.8.2のケースを例として -
- B308 高数縁(東大気候システム) TRMM PR2a25データを用いた熱帯降雨特性の定量的解析: 季節変化
- B309 那須野智江(地球フロンティア)・加藤輝之(気象研) 3次元雲解像モデルを用いた放射対流平衡実験(第2報)
- B310 鈴木恒明・江守正多(地球フロンティア)他 2名 積雲対流スキームへのトリガー関数導入とその効果



## 大会第3日 [5月23日] 09:15 ~ 11:30 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## C 会場

## 熱帯大気II

座長：北島尚子(気象研)

- C301 児玉安正・富樫麻奈美(弘前大理工)他2名 赤道大気レーダー(EAR)で観測された風の変動特性
- C302 Seto Tri Handoko・M. K. Yamamoto(京大宙空電波)他4名 An Observational Study on Intraseasonal Variations with Equatorial Atmosphere Radar in West Sumatera, Indonesia"
- C303 辻野文剛・山本真之(京大宙空電波)他4名 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏及び下部成層圏の波動解析
- C304 山本真之・親松昌幸(京大宙空電波)他6名 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏界面近傍の大気観測
- C305 辻宏一郎・高橋正明(東大気候システム)他1名 赤道域下部成層圏における重力波の分布
- C306 鹿野将徳(京大理) 熱帯対流圏界面域の赤道ケルビン波と結びついた水蒸気とエアロゾル消散係数の変動
- C307 手柴充博(京大宙空電波)・山中大(神戸大)自然/FORSGC) 気象庁 WINDAS・境界層レーダーを用いた台風0221号の同時観測
- C308 矢尾拓也・余田成男(京大理)他4名 メソ渦を伴った台風のレーダーエコー解析と MM5 シミュレーション
- C309 筆保弘徳(防災科研)・林泰一(京大防災研) Pressure dip 上層で再現された局地的な高温位偏差領域の発生メカニズム
- C310 上野充・村田昭彦(気象研) Steering Weight Concept の台風0014号への適用
- C311 室井ちあし・林修吾(気象研)他6名 地球シミュレータ上での高解像度非静力学大気モデルシミュレーション
- C312 吉岡真由美(地球シミュレータ)・栗原宜夫(地球フロンティア) 超高解度全球大気モデルによるシミュレーションその4: 台風

## D 会場

## 大気力学・中層大気

座長：高橋正明(東大気候システム)

- D301 穂積祐・植田洋匡(京大防災研)他1名 大規模山岳による低気圧性渦の移流
- D302 坂本圭・高橋正明(東大気候システム) 1999年8月・関東に接近した上層寒冷低気圧(UCL)の構造解析[その3]- UCLの南東で発生した熱帯低気圧とUCL内部で発生した対流雲のシミュレーション
- D303 日尾泰子・余田成男(京大理) 波-波相互作用による極渦の準周期的振動
- D304 内藤陽子・余田成男(京大理) 成層圏突然昇温現象へのQBOの影響に関するパラメータ実験-QBO位相への依存性、波解析
- D305 三村和男(東海大教養) 冬季北半球大気圏におけるひとつのフィードバック機構の可能性
- D306 河谷芳雄・高橋正明(東大気候システム)他2名 熱帯大西洋上空に於ける重力波活動の解析
- D307 向川均(京大防災研)・佐海弘和(北大院地球環境)他1名 成層圏突然昇温の予測可能性-気象庁一ヶ月アンサンブル予報結果の解析
- D308 堀之内武(京大宙空電波) 積雲対流による重力波の励起と中間圏界面付近における砕波の数値実験
- D309 板野稔久(防大地球) 楕円不安定のRichardson数依存性
- D310 今村剛(宇宙研)・堀之内武(京大宙空電波) 金星のケルビン波と雲模様の力学

## 大会第3日〔5月23日〕11:40～13:00 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

## 概要紹介：A会場

司会：田内利治(気象庁数値予報)

- P301 藤波初木(JST/名大地球水循環)・安成哲三(名大地球水循環) チベット高原上とその周辺域における対流活動と循環場の準2週間周期変動
- P302 浜田純二(地球観測フロンティア)・山中大学(地球観測フロンティア/神戸大自然)他3名 インドネシア・スマトラ島山岳域における降水局地性及び対流活動との関連
- P303 福廣慶樹・増田耕一(地球フロンティア)他1名 北ユーラシアにおける夏季降水の東西経年変動に関連した大気循環場に対する総観規模擾乱の役割
- P304 安富奈津子・木本昌秀(東大気候システム) 北半球夏季アジアモンスーン域主要変動モードの維持形成機構
- P305 小林ちあき・高野清治(気象研) 両半球中緯度対流圏の温暖現象
- P306 荒川理・鬼頭昭雄(気象研) 観測データと客観解析データにおける降水量と海面水温の時間位相関係
- P307 千喜良稔(東大気候システム) 北アフリカにおける非混合層起源対流の役割
- P308 川村隆一・箕浦大介(富山大理)他3名 西アフリカモンスーンのレジーム遷移と大気海洋相互作用の役割
- P309 田中実(気象研) 2002年夏のインド少雨と過去134年間のENSO・東・南アジアモンスーンの関係
- P310 見延庄士郎(北大院理/地球フロンティア) 北太平洋の1998/99年の変化:Major regime shiftの可能性
- P311 鈴木香寿恵(筑波大環境科学)・安成哲三(名大地球水循環)他1名 南極域における水蒸気輸送の季節変化と大気循環
- P312 弓本桂也・久田由紀子(九大総理工)他2名 北部九州における局地風のスペクトル解析
- P313 李相勳(日大院地球情報) 韓国における冬季の気候区分とその気候学的特徴
- P314 鈴木力英・増田耕一(地球フロンティア) 大陸スケールの実蒸発散量の年々変化に現れた植生のシグナル
- P315 鈴木博人(東日本旅客鉄道)・加藤永子(工学気象研) 1950-2001年における日本の大雨の経年変化
- P316 野田多馨子・坂元尚美(神戸大自然) 日記天候記録を用いた日射量復元の試み 平安末期～鎌倉初期を例として
- P317 鬼頭昭雄(気象研) 山岳上昇のENSOに対する影響
- P318 村田泰洋(北大院理)・保坂征宏(気象研)他3名 温暖化に伴う水循環の変化:降水について
- P319 柴田清孝・行本誠史(気象研) 温暖化シナリオランにおける成層圏-対流圏物質交換について
- P320 横島徳太(北大院理)・小杉田圭之(日立ソフト)他2名 二酸化炭素の雲による温室効果と火星古環境
- P321 平口博丸・森信人(電中研) 地上10m風に関する週間アンサンブル気象予報の精度と確率密度関数の推定法
- P322 上清直隆(気象衛星センター)・岡本幸三(気象庁数値予報) GMS-5水蒸気チャンネル輝度温度の直接同化(第1報)
- P323 庄司桂一郎(東京航空地方気象台) 大気中立層内で発現する晴天乱気流-沈降する寒気により発現した事例-
- P324 大野本和敏・小出寛(気象庁気候情報)他3名 JRA-25 長期再解析プロジェクト GMSの再計算雲移動ベクトル風の品質
- P325 坂本雅巳・操野年之(気象庁気候情報)他3名 JRA-25 長期再解析プロジェクト TOVSデータ処理
- P326 高木敏明・和田将一(東芝)他2名 雲解像モデルCRESSを用いた降雪の予報実験
- P327 計盛正博・岡本幸三(気象庁数値予報)他1名 3次元変分法を用いたATOVS放射データの同化(第3報)
- P328 田内利治・小澤英司(気象庁数値予報)他4名 SSM/I輝度温度データの全球数値解析予報システムへの利用(第2報)
- P329 徳野正己・太橋康昭(気象庁数値予報) QuikSCAT/Sea Winds海上風の全球解析への利用
- P330 村田昭彦・上野充(気象研) 雲解像モデルによる積雲のエントレインメントの検証
- P331 益子涉・室井ちあし(気象研) MRI/NPD-NHMを用いた2way多重移動格子モデルの開発(第二報)
- P332 井上豊志郎・釜堀弘隆(気象研) 全球客観解析と静止衛星から推定される水蒸気場の比較-2002年6月27日の事例-
- P333 吉村裕正(気象研)・松村崇行(気象庁数値予報)他3名 鉛直方向に保存性のあるセミラグランジアン法の開発
- P334 君野珠宏(通信・放送機構) 北海道大樹町沿岸における霧の予測手法
- P335 酒巻洋・若山俊夫(三菱電機)他4名 発雷判定要素を用いた雷予測アルゴリズム

## 大会第3日 [5月23日] 11:40 ~ 13:00 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

## 概要紹介：B会場

司会：平沢尚彦(極地研)

- P336 黄眞淳・中島映至(東大気候システム)他2名 異なる間接効果パラメタリゼーションによるエアロゾル間接効果と放射強制力の評価
- P337 本吉弘岐(スペースサービス)・青木輝夫(気象研)他3名 多波長反射率計を用いた可視・近赤外域の雪面による反射率の測定
- P338 岡田格(科技団/千葉大 CEReS)・高村民雄(千葉大 CEReS)他6名 Mandalgovi における放射観測とその利用について
- P339 真野裕三(気象研) 凹凸のある粒子の電磁波散乱の計算について
- P340 菊地信行(地球研) 雲層内の水平方向の放射の輸送のシミュレーション
- P341 石田春麿・浅野正二(東北大理 CAOS) 放射伝達計算による不均質大気中の放射場の評価
- P342 岩淵弘信(地球フロンティア)・野田邦雄(京大院エネルギー科学)他1名 三次元放射伝達の逆問題:非局所法と反復法
- P343 関口美保・中島映至(東大気候システム)他1名 新放射コードの開発その1 - 気体吸収に関する変更
- P344 深堀正志・青木忠生(気象研)他4名 CO<sub>2</sub> レーザーバンドにおける吸収線パラメータ及び Herman-Wallis 因子
- P345 鈴木民・塩川和夫(名大 STE 研)他3名 オーストラリア・ダーウィンで観測された大気光画像中の重力波の統計解析
- P346 足立透・福西浩(東北大院理)他1名 冬季日本に発生するスプライトと雷雲の特徴
- P347 高橋幸弘・足立透(東北大院理)他1名 ROSCAT-2 衛星搭載の上空放電発光観測用フォトメータの開発
- P348 佐藤光輝・福西浩(東北大院理)他1名 ELF 帯磁場波形データから推定されるスプライトの全球発生頻度分布
- P349 平木康隆(東北大理)・Tong Lizhu(東北大流体研)他3名 数値計算によるスプライトの生成過程と中層大気化学への影響の解明
- P350 久保博司・三好勉信(九大理) 成層圏半年周期変動についての解析
- P351 金久博忠(気象大) [温位勾配 × 風速度] 方向の渦度成分に関連した保存量
- P352 中尾哲弥・板野稔久(防大地球科学)他2名 特殊回転風洞を用いた竜巻状渦の性状に関する実験(第二報)
- P353 柳瀬亘・新野宏(東大海洋研) 対流加熱を伴う傾圧不安定波の構造とエネルギーサイクル
- P354 堀之内武(京大宙空電波)・今村剛(宇宙研) 子午面流中の赤道波による運動量輸送の一般論
- P355 松島和宏(東海大院工)・三村和男(東海大教養) 鉛直設置アニュラス型閉ループ内熱対流に関する数値実験 - 一定常解の検証 -
- P356 杉村剛(名大院理/地球シミュレータ)・高橋桂子(地球シミュレータ)他2名 極域を考慮した正方格子系における移流ベンチマークテスト
- P357 富川喜弘(東大先端研)・佐藤薫(極地研) 極渦縁辺領域に卓越する短周期擾乱と中間規模東進波の関係
- P358 星野俊介・中澤哲夫(気象研) QuikSCAT 海上風の精度検証(その2)
- P359 増田一彦・真野裕三(気象研)他2名 回折格子型赤外サウンダ(AIRS)のチャンネル選択:晴天海域
- P360 可知美佐子・今岡啓治(NASDA/EORC)他 みどりII (ADEOS-II)搭載 AMSR の初期データ
- P361 中島孝・村上浩(NASDA/EORC)他 みどりII (ADEOS-II)搭載 GLI の初期データ
- P362 北村彩子・泉岳樹(都立大理)他1名 熱収支の日変化を考慮した、衛星データによる熱環境の把握に関する研究
- P363 飯田泰久・岡本謙一(大阪府立大院)他1名 レーダ・アメダス合成図を用いた太陽同期衛星群 5 機ならびに TRMM(TMI)衛星による降雨のサンプリング誤差の推定
- P364 瀬戸心太(東大院工)・篠田雅人(都立大院理) TRMM/TMI による日単位土壌水分量推定 - サヘルにおける現地観測との比較 -
- P365 田川哲也・岡本謙一(大阪府立大院)他1名 GPM(全球降水観測計画)衛星搭載の 35.5GHz 帯降雨レーダの地表面クラッタ特性の評価
- P366 森野悠・近藤豊(東大先端研)他7名 化学イオン化質量分析法(CIMS)による大気硝酸測定装置の試験結果
- P367 大野宏之(農環研)・矢吹裕伯(地球観測フロンティア)他1名 融雪速度のリモートセンシング
- P368 眞藤康雄・山崎明都(気象測器検定試験センター)他3名 電磁式台はかりを用いた基準ピット雨量計について
- P369 田平誠・山本さき(愛知教育大)他6名 T型ラインマイクロホンをを用いた微気圧振動の観測
- P370 青木輝夫・深堀正志(気象研)他4名 積分球を用いたアルベドプローブの試作
- P371 小林健二・泉川安志(気象庁観測)他2名 気象庁のウィンドプロファイラ観測における渡り鳥エコーの影響と対策

## 大会第4日〔5月24日〕09:15～11:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## A 会場

## 物質循環III

座長：村山利幸(東京商船大)

- A401 新井健一・高村民雄(千葉大 CEReS)他 4名 SKYNETでのエアロゾル放射強制効果
- A402 村山利幸(東京商船大商船) 多波長ラマンライダーによる対流圏エアロゾルの光学特性の観測
- A403 當松展充・甲斐憲次(名大院環境)他 7名 タク라마カン砂漠北部地域における秋季のライダー観測と「3つのイベント」に関する気象学的解析
- A404 岡田菊夫(気象研)・甲斐憲次(名大) タク라마カン砂漠の大気で採集されたエアロゾル粒子について
- A405 甲斐憲次・中山弘康(名大院環境)他 6名 タク라마カン砂漠北縁地域におけるダスト発生と気象条件との関係について—2002年4月の集中観測—
- A406 吉野正敏(国連大/国土環境)・山本享(国土環境)他 2名 東アジアにおけるダストストーム・黄砂発生回数の実態に関する総観気候学的研究
- A407 四分一芳史・高村民雄(千葉大 CEReS)他 3名 モンゴル森林火災時に近隣で観測されたエアロゾルの特徴
- A408 梶野瑞王・植田洋匡(京大防災研)他 2名 東アジアの大気質への三宅島起源硫酸エアロゾルの影響
- A409 新井豊・今須良一(東大気候システム)他 1名 大気硫黄循環モデルを用いた海洋生物起源 DMS に関する研究

## B 会場

## 気象予報

座長：露木 義(気象研)

- B401 成田正巳(気象庁数値予報) 位置ずれを考慮したスコアによる降水量予測の検証
- B402 瀬古弘・川畑拓矢(気象研)他 4名 ドップラーレーダの動径風と GPS 水蒸気データを用いた同化実験
- B403 三好建正(気象庁数値予報) 3次元変分法(JNoVA0)の毎時解析による非静力学モデル(NHM)の予報例—2003年1月27日の成田空港付近の局所前線—
- B404 林修吾・加藤輝之(気象研)他 2名 非静力学モデルを用いた発雷予測(その1)—着氷電荷分離機構を用いた雲内電荷予測—
- B405 荒波恒平・石田純一(気象庁数値予報)他 2名 雲解像非静力学大気モデルの開発
- B406 澤井哲滋・藤原弘章(気象大学校) 連続地上天気図に基づく総観場の整理
- B407 Xindong Peng(地球シミュレータ)・Feng Xiao(東工大)他 2名 Conservative Semi-Lagrangian Transport in Spherical Coordinate and the Application in AFES
- B408 高野清治(気象研)・経田正幸(気象庁数値予報)他 1名 ランチョス法—アジョイントモデルを使った特異ベクトル計算
- B409 小林ちあき・高野清治(気象研) 季節予報予測可能性における初期値のシグナル—季節予報予測可能性実験 SMIP2 を用いて—

## 大会第4日 [5月24日] 09:15 ~ 11:00 一般口頭発表

(~~~~は講演者を表す)

## C 会場

## 大気境界層

座長：山田哲二 (YSA Co.)

- C401 木村圭司(都立大理) モンゴルの首都ウランバートルにおける冬季の視程の悪化と気温の経年変動
- C402 大橋唯太(産総研)・寺尾徹(大阪学院大情報) 他 3名 局地循環による水蒸気輸送と盆地霧の関連性ー広島県三次盆地を対象とした数値実験ー
- C403 大橋唯太(産総研)・亀卦川幸浩(富士総研) 他 4名 街区内における気温の鉛直構造の観測と都市キャノピーモデルによる数値計算との比較ー夏季の評価ー
- C404 池東旭・菅原広史(防大地球海洋) 他 1名 AWS データを用いたヒートアイランドの考察ーソウル(韓国)
- C405 菅原広史・内藤真幸(防大) 他 クールアイランド現象の立体構造と季節変化
- C406 山田哲二(YSA Co.) 複雑地形の影響を受ける都市の風速分布シミュレーション
- C407 深尾一仁・大澤輝夫(岐阜大院工) 他 1名 定量的アプリケーションに向けた MMS の計算精度検証

## D 会場

## 降雪

座長：川島正行(北大低温研)

- D401 吉崎正憲・加藤輝之(気象研) 他 冬季日本海メソ対流系観測-2003(WMO-03)の概況報告
- D402 吉崎正憲・加藤輝之(気象研) 他 1名 WMO-01(冬季日本海メソ対流系観測-2001)期間の日本海の熱・水蒸気収支(2)
- D403 永戸久喜・室井ちあし(気象研) 他 6名 日本海寒帯気団収束帯上に発生する帯状雲の高解像度・広領域数値シミュレーション
- D404 石渡宏臣・小林文明(防大地球科学) 他 2002年1月28日から29日にかけて発生したメソβ渦の形成過程
- D405 川島正行(北大低温研)・藤吉康志(北大低温研/地球フロンティア) ドップラーレーダーデータを用いた渦状降雪雲の運動エネルギー収支解析
- D406 村上正隆(気象研)・越田智喜(国土環境) 他 5名 山岳性降雪雲の水収支解析
- D407 楠研一・村上正隆(気象研) 他 7名 三国山脈周辺の山岳性降雪雲の気流とエコー分布の観測ー事例解析IIー
- D408 中井専人・石坂雅昭(防災科研) 他 3名 2003年1月4-5日の中越地域における降雪の観測
- D409 青梨和正・柴田彰(気象研) 他 若狭湾特別観測(WAKASA2003)の固体降水の構造と雲物理量の特徴(その1)

## 大会第4日 [5月24日] 11:10 ~ 12:30 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

## 概要紹介：A会場

司会：前田修平(気象庁気候情報)

- P401 野口智子・松山洋(都立大理)他1名 東京における平日と週末の気候の違いについて
- P402 関隆則(気象予報士) 気温の日格差ランク分布と地域性に関する解析
- P403 野田和宏・播磨屋敏生(北大院理)他 準実スケール実験におけるエアロゾル粒径分布と雲粒粒径分布の関係
- P404 橋本明弘(AESTO)・村上正隆(気象研)他2名 MRI/NPD 統一非静力学モデル雲水・雨水 2-moment スキームの開発
- P405 千葉ゆきこ・播磨屋敏生(北大院理)他3名 Kaバンドレーダを用いた雲水量鉛直プロファイルのリトリバル(III)
- P406 折笠成宏・村上正隆(気象研)他4名 山岳性降雪雲の微物理構造に関する統計的特徴－HYVIS 観測による鉛直分布－
- P407 下舞豊志・古津年章(島根大)他6名 スマトラ・コトダバンにおける赤道対流雲観測システム
- P408 鈴木賢士(山口大)・川野哲也(九大)他 X-BAIU-02 期間中に観測された雨滴電荷分布について
- P409 青柳祐二(NEC 情報システムズ)・花土弘(通総研)他1名 TRMM 降雨レーダ(PR)と可視赤外観測装置(VIRS)を用いた対流雲の発達段階の評価
- P410 田上浩孝・新野宏(東大海洋研) 2001年の梅雨前線上を通過した擾乱の解析
- P411 清水慎吾(名大地球水循環)・上田博(名大地球水循環/地球観測フロンティア)他4名 2001年長江下流域梅雨期集中観測で観測された対流セルの特性を決定する環境場の三次元構造
- P412 北島尚子(気象研) 関東地方における台風0221号とメソ前線の変化
- P413 岩崎博之(群馬大教育) 日没後に榛名山南東麓で発生する積乱雲の発達過程の特徴
- P414 松下拓樹(自然環境科学研) 東京で観測された凍雨と雨水
- P415 三浦勇一(東京理科大) クローズ型セル状対流雲の発生とその一般場の構造
- P416 中井専人・岩波越(防災科研)他4名 新潟県中部に見られる雪雲モードの出現特性
- P417 坂下佳一郎・上田博(名大地球水循環)他8名 冬季雷をもたらす降雪雲の内部構造解析と地上降雪粒子観測－2001年12月22日－
- P418 太竹秀明(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研)他1名 冬季北海道西岸の日本海上で特に発達する筋雲の気流構造
- P419 江尻智子・升本真二(大阪市立大理)他2名 LANDSAT/TM 熱画像を用いた近畿圏でのヒートアイランド強度の推定
- P420 森藤香・塚本修(岡山大)他1名 広戸風の発生機構に関する研究
- P421 細田浩司・横堀誠(茨城県林業技術センター) 2002年春の高温少雨によるゴウマツの乾燥害
- P422 田上善夫(富山大教育) カリブ海周辺における気象災害の変動
- P423 森井順之・早川典子(東京文化財研)他1名 国宝・重文日光社寺建造物群保存修復のための温湿度計測
- P424 富川幸治(高層気象台) オゾン全量から推定したオゾン鉛直分布の解析事例
- P425 岡田亮(筑波大生命環境)・田中博(筑波大地球科学) 地形効果が北極振動に及ぼす影響について－順圧大気大循環モデルを用いた数値実験－
- P426 久保田剛・田中博(筑波大地球科学) 北極振動における波と平均流の相互作用の研究－観測データ解析による Polar Mode の検出－
- P427 大石徹也(日大院地球情報)・山川修治(日大文理) 冬季における太陽活動の盛衰と対流圏・成層圏の気圧系－北極振動に主眼を置いて－
- P428 若月泰孝(AESTO)・川畑拓矢(気象研)他2名 GAME/HUBEX 領域再解析データの作成
- P429 渡来靖・田中博(筑波大地球科学) ブロッキングの形成期における順圧－傾圧相互作用の振舞い(その4)
- P430 渡辺幸一・川上智規(富山県立大短大)他1名 富山県で観測された2002年11月の黄砂現象について－エアロゾル粒子の粒径分布および降水中の化学成分濃度の測定－
- P431 納口恭明・下川信也(防災科研)他2名 新聞紙上で例えとして使われる気象用語
- P432 大貫修平・中西幹郎(防大) 湿潤過程を含んだROLL状対流の形成に関する数値的研究
- P433 吉田智・河崎善一郎(阪大院)他1名 マイクロバーストと雷放電の統計的關係
- P434 道本光一郎・花田隆(防衛庁)他2名 小松飛行場周辺の新雷電探知装置の概要について
- P435 福原隆彰・石川裕彦(京大防災研) 爆発的な低気圧発達における地表面熱・水蒸気フラックスの影響

## 大会第4日 [5月24日] 11:10 ~ 12:30 ポスターセッション

(~~~~は講演者を表す)

## 概要紹介：B会場

司会：吉門 洋(産総研)

- P436 三浦優利子・石川裕彦(京大防災研) 北インド洋のサイクロン発生に環境場が与える影響
- P437 伊藤明・前田修平(気象庁気候情報)他1名 気象庁における力学的季節予報実験-夏の東アジア循環場の予測精度-
- P438 久保田拓志(京大防災研)・寺尾徹(大阪学院大情報)他1名 ENSO 終息後の熱帯対流圏温度偏差に関する数値実験
- P439 遠藤伸彦(地球フロンティア) 東アジアの低層雲の長期変動
- P440 田平誠・竹内慎一郎(愛知教育大)他1名 ログ付小型GPS受信機及びサーミスター温度計を利用した気温の移動観測-愛知県岡崎市の例(1)-
- P441 藤部文昭(気象研) 国内における近年の著しい高温と熱帯夜の発現状況
- P442 梶原誠(東大理)・沖大幹(地球研)他1名 日本における100年間の豪雨頻度の経年変化
- P443 早坂洋史(北大工/科技団)・木村圭司(都立大理/科技団) 東シベリア・ヤクーツク周辺での温暖化に伴う森林火災の増加要因
- P444 高村陽子・木田秀次(京大院理) 2次元放射モデルを用いた古気候研究
- P445 村上茂教・行本誠史(気象研)他2名 温暖化に伴う海洋循環の変化に対する熱及び淡水フラックスの役割
- P446 小倉知夫・木本昌秀(東大気候システム)他4名 雲水/雲氷分布が気候感度に及ぼす影響
- P447 小畑淳・行本誠史(気象研)他2名 気候-炭素循環結合モデルの開発
- P448 大野木和敏・小出寛(気象庁気候情報)他2名 JRA-25 長期再解析プロジェクト季節予報用陸面解析の再解析への適用
- P449 初鹿宏壮・筒井純一(電中研) JRA-25 長期再解析プロジェクト-再解析における台風位置情報の活用-
- P450 古本淳二・岩井聡(京大宙空電波)他3名 EAR・RASSによる赤道域大気温度の観測
- P451 Lestari Rosbintarti Kartika・Toshiki Iwasaki(東北大院理) Seasonal Precipitation of Indonesia (Part 1)
- P452 和田章義(気象研) 台風海洋混合層、結合モデルの改善と台風強度予報への影響
- P453 岩崎杉紀(地球観測フロンティア)・対馬洋子(地球フロンティア)他7名 熱帯の圏界面付近に発生する巻雲の観測
- P454 Jingyang Chen・Ryuichi Shirooka(FORSGC)他8名 Properties of Convection within the ISO Observed in the Cruise of the R/V "Mirai"
- P455 足立樹泰(通総研) 通信総合研究所における400MHz帯ウィンドプロファイラの開発
- P456 濱田篤・西憲敬(京大院理)他1名 熱帯域大規模雲擾乱に伴う上層層状雲のTBB降下現象
- P457 横井寛・里村雄彦(京大院理) 東南アジアにおける季節内変動と赤道ロスビー波について
- P458 村田文絵・荻野慎也(神大自然)他11名 インドネシアにおける対流性降水雲に関する研究(第10報)
- P459 櫻井南海子・村田文絵(神大自然)他7名 Sumatera島における対流活動の日周期変化について(4)~背景風と雲の移動の関係~
- P460 宮崎保彦(気象衛星センター) 対数螺旋状対流域(1)
- P461 Findy Renggono(BPPT, Indonesia)・橋口浩之(京大宙空電波)他2名 Precipitating cloud studies with Equatorial Atmosphere Rader (EAR)
- P462 中野満寿男・中島健介(九大理) 台風初期渦形成に鉛直シアーが及ぼす影響
- P463 山本真之・中村博志(京大宙空電波)他5名 赤道大気レーダーで観測されたスマトラ島における風速の月変動
- P464 坂野井和代・村山泰啓(通総研)他4名 ポーカーフラット上空における中間圏温度・風速変動と成層圏突然昇温との関連
- P465 眞田智彦(熊大大理) 全球 SST の経年変動に及ぼす海面熱フラックスの効果について
- P466 永井信・市井和仁(名大院環境)他1名 東南アジアにおける植生変動と ENSO との関連
- P467 増田耕二(地球フロンティア) 大陸上での GAME 再解析の降水量の評価
- P468 伊藤昭彦(地球フロンティア) 主要河川流域における水・炭素収支のモデル解析：陸上植生の水利用効率
- P469 肥塚清光・安田延壽(東北大院理) 仙台市における昼間のヒート・アイランドと人口排熱
- P470 兒玉裕二(北大低温研)・岡田啓嗣(北大農)他3名 アラスカ凍土地帯における熱・水・CO<sub>2</sub>フラックス観測
- P471 大泉三津夫(気象研)・平井雅之(気象庁数値予報) 新陸面モデル(MRI/JMA-SiB)のインパクト実験

## 大会第4日〔5月24日〕13:30～17:00 専門分科会

(~~~~は講演者を表す)

## A 会場

## 「北極振動と中高緯度大気循環」

## 招待講演 (持ち時間 1 件 15 分)

座長：田中 博(筑波大地球科学)

- A451 山崎孝治(北大院地球環境/地球フロンティア)・小笠原敦(北大地球環境)他 2 名 北半球環状モードにおける大規模地形の役割に関する数値実験
- A452 田中博(地球フロンティア/筑波大地球科学) 順圧大気大循環モデルによる北極振動の数値実験およびその力学的考察
- A453 伊藤久徳(九大理) 見かけの北極振動の再考案
- A454 渡部雅浩(北大院地球環境) 北極振動はやはり 3 次元基本場の特異モードか?
- A455 塩竈秀夫(京大防災研)・寺尾徹(大阪学院大情報)他 2 名 南半球環状モードの遷移過程における長・短周期擾乱の役割

座長：山崎孝治(北大院地球環境)

- A456 小寺邦彦(気象研) 北大西洋振動と北極振動:その空間構造の違い
- A457 黒田友二(気象研) 極夜ジェット振動による北極振動の形成
- A458 中村尚(地球フロンティア/東大院理)・山根省三(地球フロンティア)他 1 名 アリューシャン・アイスランド両低気圧間のシーソー現象に見られる長期変調—メカニズムと第一 EOF パターンへの反映—
- A459 本田明治(地球フロンティア/コロンビア大 IRI)・Yochanan Kushnir(コロンビア大 LDEO)他 3 名 大気大循環モデルアンサンブル気候ランにおけるアリューシャン低気圧—アイスランド低気圧シーソーのふるまい
- A460 山根省三(地球フロンティア)・中村尚(地球フロンティア/東大院理)他 2 名 冬季北半球循環場の長周期変動の変調と基本場のモード解析—アリューシャン・アイスランド低気圧のシーソー現象に着目して—

## 休憩 (15 分)

## 一般講演 (持ち時間 1 件 12 分)

座長：中村尚(東大院理)

- A461 山本健太郎(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他 3 名 北大西洋振動のフェーズシフトをもたらす北半球海氷シーソー
- A462 小木雅世(北大院地球環境)・立花義裕(東海大)他 1 名 冬季北極振動(AO)と夏季の大気—海洋循環との関係
- A463 平沢尚彦(極地研)・中村尚(東大院理)他 1 名 南極氷床上の大気循環場に観測される季節内変動と高緯度循環
- A464 西澤誠也・余田成男(京大理)他 1 名 環状変動におよぼす地形の影響—大気海洋結合モデル実験—
- A465 川崎宣昭(筑波大付属高)・山崎謙介(東京学芸大)他 1 名 独立成分分析の北半球気圧場への適用—時間指向と空間指向による 2 種類の解析方法の比較—



## B 会場

### 「熱帯アジアモンスーンオンセットのメカニズム理解に向けて」

座長：松本淳(東大理)

趣旨説明 里村雄彦(京大理)

B451 川村隆一(富山大理) なぜモンスーンの雨期が突然始まるのだろうか?

B452 植田宏昭(筑波大地球科学) プレモンスーン期の熱源について

B453 荻村圭(東大生産研)・沖大幹(地球研)他1名 水蒸気起源の変動からみたアジアモンスーンのオンセット

休憩 (10分)

B454 広瀬正史・中村健治(名大地球水循環) TRMM PR による熱帯モンスーン域の降雨特性の解析

B455 Kavirajan Rajendran・鬼頭昭雄(気象研)他1名 Impact of Global Warming on the Onset of Regional Monsoons over Asia

総合討論 (20分)

\*1 件あたりの持ち時間は35分です。

## C 会場

### 「気象予報士としての仕事と社会貢献」

座長：平松信昭(気象協会)

C451 板東恭子(気象庁産業気象) 気象予報士の現状

C452 小西雅子(ウェザーニューズ) 気象予報士制度の日米比較(仮題)

C453 永澤義嗣(気象庁予報) 地域防災と気象予報技術

C454 松嶋憲昭(佐世保市役所) 地方自治体における防災業務

C455 諫山安彦・富田正夫(関西気象予報士会) ボランティア活動：小中学校向け出前授業「楽しいお天気講座」への取り組みの紹介

休憩 (10分)

総合討論 (40分)

\*1 件あたりの持ち時間は30分です。

## 講演者索引

## &lt;A&gt;

Abe Yoichi(阿部陽一) B106  
 Abe Yoichi(阿部陽一) P149  
 Abe Yutaka(阿部豊) B151  
 Adachi Sachihō(足立幸穂) P127  
 Adachi Tatsuhiro(足立樹泰) P455  
 Adachi Toru(足立透) P346  
 Akita Kenichi(秋田健一) P159  
 Akiyoshi Hideharu(秋吉英治) B205  
 Aoki Teruo(青木輝夫) P370  
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) D409  
 Aoyagi Yuji(青柳祐二) P409  
 Arai Kenichi(新井健一) A401  
 Arai Yutaka(新井豊) A409  
 Arakawa Osamu(荒川理) P306  
 Araki Kosuke(荒木孝輔) P142  
 Aranami Kouhei(荒波恒平) B405  
 Arao Kimio(荒生公雄) P116  
 Asano Shoji(浅野正二) C151  
 Asanuma Jun(浅沼 順) P264

## &lt;B&gt;

Bandou Kyoko(板東恭子) C451

## &lt;C&gt;

Chen Jingyang(陳敬陽) P454  
 Chiba Yukiko(千葉ゆきこ) P405  
 Chikira Minoru(千喜良稔) P307  
 Chubachi Shigeru(忠鉢繁) B206  
 Chuda Takashi(中田隆) B105

## &lt;D&gt;

Deushi Makoto(出牛真) P121

## &lt;E&gt;

Eito Hisaki(永戸久喜) D403  
 Ejiri Mitsumu(江尻省) P214  
 Ejiri Tomoko(江尻智子) P419  
 Endo Nobuhiko(遠藤伸彦) P439  
 Enomoto Takeshi(榎本剛) C102

## &lt;F&gt;

Findy Renggono P461  
 Fudeyasu Hironori(筆保弘徳) C309  
 Fujibe Fumiaki(藤部文昭) P441  
 Fujinami Hatsuki(藤波初木) P301  
 Fujita Hiroyuki(藤田博之) B104  
 Fujita Miyuki(藤田美歩) P246  
 Fujiwara Hiroaki(藤原弘章) C107  
 Fujiwara Yuzuru(藤原禪) P132  
 Fujiyoshi Yasushi(藤吉康志) C162  
 Fujiyoshi Yasushi(藤吉康志) P134  
 Fukabori Masashi(深堀正志) P344  
 Fukao Kazuhito(深尾一仁) C407  
 Fukuda Masato(福田真人) P111  
 Fukuhara Takaaki(福原隆彰) P435  
 Fukui Tetsuo(福井哲央) P158  
 Fukutomi Yoshiki(福富慶樹) P303

Furumoto Junichi(古本淳一) P450

## &lt;G&gt;

Gamo Minoru(蒲生稔) P221  
 Geng Biao(耿驃) D106

## &lt;H&gt;

Hachisu Jun(蜂巢潤) P201  
 Hachisuka Takatomo(蜂須賀隆友) P216  
 Hamada Atsushi(濱田篤) P456  
 Hamada Junichi(浜田純一) P302  
 Hanatsuchi Hiroshi(花土弘) P163  
 Hanawa Kimio(花輪公雄) D165  
 Harazono Yoshinobu(原 蘭芳信) A153  
 Hashimoto Akihiro(橋本明弘) P404  
 Hashimoto Atsushi(橋本篤) P231  
 Hatsushika Hiroaki(初鹿宏壮) P449  
 Hattori Tomonori(服部友則) D156  
 Hayasaka Hiroshi(早坂洋史) P443  
 Hayasaka Tadahiro(早坂忠裕) C152  
 Hayashi Hitomi(林ひとみ) P207  
 Hayashi Syugo(林修吾) B404  
 Higuchi Atsushi(樋口篤志) P237  
 Higuchi Atsushi(樋口篤志) P254  
 Hio Yasuko(日尾泰子) D303  
 Hiraguchi Hiromaru(平口博丸) P321  
 Hirai Shigeo(平井重雄) P166  
 Hiraki Yasutaka(平木康隆) P349  
 Hirano Takashi(平野高司) P248  
 Hirasawa Naohiko(平沢尚彦) A463  
 Hirasawa Naohiko(平沢尚彦) P253  
 Hirose Masafumi(広瀬史史) B454  
 Hirota Tomoyoshi(広田知良) P243  
 Hiyama Tetsuya(檜山哲哉) A154  
 Hizuka Kiyomitsu(肥塚清光) P469  
 Honda Meiji(本田明治) A459  
 Hori Mitsuhiko(堀晃浩) D203  
 Horinouchi Takeshi(堀之内武) D308  
 Horinouchi Takeshi(堀之内武) P354  
 Hoshino Shunsuke(星野俊介) P358  
 Hosoda Hiroshi(細田浩司) P421  
 Hozumi Yu(穂積祐) D301  
 Huang Hsuanchun(黄宣淳) P336

## &lt;I&gt;

Iemoto Kaoru(家本薫) P250  
 Igarashi Hiromichi(五十嵐弘道) P117  
 Iguchi Takamichi(井口享道) P138  
 Iguchi Takamichi(井口享道) P267  
 Iida Yasuhisa(飯田泰久) P363  
 Ikeda Shoichiro(池田祥一郎) D108  
 Ikemoto Kazuo(池本和生) B107  
 Imamura Takeshi(今村剛) D310  
 Imasu Ryoichi(今須良一) B201  
 Inoue Tadao(井上忠雄) P229  
 Inoue Toshiro(井上豊志郎) P332  
 Isayama Yasuhiko(諫山安彦) C455  
 Ishida Haruma(石田春磨) P341  
 Ishida Sachinobu(石田祐宣) P238

Ishii Masayoshi(石井正好) D157  
 Ishii Shoken(石井昌憲) P157  
 Ishikawa Takateru(石川高照) D151  
 Ishikawa Yuki(石川由紀) A205  
 Ishiwatari Hiroomi(石渡宏臣) D404  
 Ishiwatari Masaki(石渡正樹) B153  
 Itano Toshihisa(板野稔久) D309  
 Ito Akihiko(伊藤昭彦) P468  
 Itoh Akira(伊藤明) P437  
 Itoh Hisanori(伊藤久徳) A453  
 Iwabuchi Hironobu(岩淵弘信) P342  
 Iwai Satoshi(岩井聡) P227  
 Iwanami Koyuru(岩波越) P161  
 Iwasaka Naoto(岩坂直人) D160  
 Iwasaki Hiroyuki(岩崎博之) P413  
 Iwasaki Suginori(岩崎杉紀) P270  
 Iwasaki Suginori(岩崎杉紀) P453  
 Iwasaki Toshiki(岩崎俊樹) B161  
 Izumi Takeki(泉岳樹) P224

## &lt;J&gt;

Ji Dongwook(池東旭) C404

## &lt;K&gt;

Kachi Misako(可知美佐子) P360  
 Kai Kenji(甲斐憲次) A405  
 Kajino Mizuo(梶野瑞王) A408  
 Kajiwara Makoto(梶原誠) P442  
 Kamahori Hirotaka(釜堀弘隆) C207  
 Kamei Akihide(亀井秋秀) P222  
 Kanamaru Yukiko(金丸由紀子) A305  
 Kanda Manabu(神田学) A152  
 Kanehisa Hirotada(金久博忠) P351  
 Kanno Hiromitsu(菅野洋光) A206  
 Kasai Yasuko(笠井康子) A103  
 Kato Kuranoshin(加藤内蔵進) D105  
 Kato Teruyuki(加藤輝之) B307  
 Kawahara Makoto(川原誠) P233  
 Kawahara Taku(河原卓) P122  
 Kawamura Ryyuichi(川村隆一) B451  
 Kawamura Youhei(河村洋平) P160  
 Kawano Tetsuya(川野哲也) D103  
 Kawasaki Nobuaki(川崎宣昭) A465  
 Kawase Hiroaki(川瀬宏明) P153  
 Kawashima Masayuki(川島正行) D405  
 Kawashima Shigeto(川島茂人) P133  
 Kawatani Yoshio(河谷芳雄) D306  
 Kazaoka Ryo(風岡亮) C159  
 Kazumori Masahiro(計盛正博) P327  
 Kikuchi Katsuhiko(菊地勝弘) D205  
 Kikuchi Nobuyuki(菊地信行) P340  
 Kimino Tamahiro(君野珠宏) P334  
 Kimura Keiji(木村圭司) C401  
 Kimura Ruyui(木村龍治) B163  
 Kita Kazuyuki(北和之) A101  
 Kita Kazuyuki(北和之) A106  
 Kitabatake Naoko(北畠尚子) P148  
 Kitabatake Naoko(北畠尚子) P412

- Kitamura Ayako(北村彩子) P362  
 Kitamura Yuji(北村祐二) B157  
 Kitoh Akio(鬼頭昭雄) A307  
 Kitoh Akio(鬼頭昭雄) P317  
 Kobayashi Chiaki(小林ちあき) B409  
 Kobayashi Chiaki(小林ちあき) P305  
 Kobayashi Fumiaki(小林文明) B103  
 Kobayashi Hiroshi(小林拓) P108  
 Kobayashi Kenji(小林健二) P371  
 Kochi Yu(河内悠) P146  
 Kodama Yasumasa(児玉安正) C301  
 Kodama Yasumasa(児玉安正) P266  
 Kodama Yuji(児玉裕二) P470  
 Kodera Kunihiko(小寺邦彦) A456  
 Koike Makoto(小池真) A102  
 Komoda Hiroaki(薦田廣章) P242  
 Kondo Hiroaki(近藤裕昭) P234  
 Kondo Yutaka(近藤豊) A105  
 Konishi Masako(小西雅子) C452  
 Kosaka Yousuke(小坂洋介) B159  
 Koshida Tomoki(越田智喜) D406  
 Kotani Ayumi(小谷亜由美) P251  
 Kuba Naomi(久芳奈遠美) C155  
 Kubo Hiroshi(久保博司) P350  
 Kubota Hisayuki(久保田尚之) C202  
 Kubota Takuji(久保田拓志) P438  
 Kubota Tsuyoshi(久保田剛) P426  
 Kuji Makoto(久慈誠) C108  
 Kumagai Hiroshi(熊谷博) C160  
 Kunimatsu Hiroshi(国松洋) P211  
 Kurihara Kazuo(栗原和夫) A306  
 Kuroda Yuhji(黒田友二) A457  
 Kuroyanagi Yoko(醉柳洋子) A201  
 Kusunoki Kenichi(楠研一) D407  
 Kusunoki Shoji(楠昌司) D107  
 Kutsuwada Kunio(轡田邦夫) D161  
 Kuwagata Tsuneo(桑形恒男) P263
- <L>  
 Lestari Rosbintartikartika P451
- <M>  
 Mabuchi Kazuo(馬淵和雄) A301  
 Machida Toshinobu(町田敏暢) P257  
 Maki Masayuki(真木雅之) B306  
 Mano Yuzo(真野裕三) P339  
 Mashiko Wataru(益子渉) P331  
 Masuda Kazuhiko(増田一彦) P359  
 Masuda Kouichi(増田耕一) P467  
 Matsui Ichiro(松井一郎) P260  
 Matsuki Atsushi(松木篤) P102  
 Matsumoto Takanori(松本隆則) D164  
 Matsumoto Yuko(松本優子) P136  
 Matsushima Kazuhiro(松島和宏) P355  
 Matsushima Noriaki(松嶋憲昭) C454  
 Matsushita Hiroki(松下拓樹) P414  
 Matsuyama Hiroshi(松山洋) P401  
 Michimoto Koichiro(道本光一郎) P434  
 Mimura Kazuo(三村和男) D305  
 Minobe Shoshiro(見延庄士郎) D158  
 Minobe Shoshiro(見延庄士郎) P310  
 Minoura Daisuke(箕浦大介) P308  
 Miura Kazuhiko(三浦和彦) P104  
 Miura Yuichi(三浦勇一) P415  
 Miura Yuriko(三浦優利子) P436  
 Miyagawa Koji(宮川幸治) P424  
 Miyazaki Kazuyuki(宮崎和幸) P205  
 Miyazaki Yasuhiko(宮崎保彦) P460  
 Miyoshi Takemasa(三好建正) B403  
 Mizuno Yusuke(水野裕介) D204  
 Mochizuki Takashi(望月崇) A303  
 Mori Atsushi(森厚) P167  
 Mori Kazumasa(森一正) P144  
 Morii Masayuki(森井順之) P423  
 Moriizumi Jun(森泉純) P256  
 Morimoto Shinji(森本真司) P124  
 Morimoto Takeshi(森本健志) P168  
 Morino Yu(森野悠) P366  
 Moritou Kaori(森藤香) P420  
 Moriwaki Ryo(森脇亮) P240  
 Motoi Tatsuo(本井達夫) A304  
 Motoyoshi Hiroki(本吉弘岐) P337  
 Mukai Makiko(向井真木子) P118  
 Mukougawa Hitoshi(向川均) D307  
 Murakami Kazutaka(村上和隆) P210  
 Murakami Masataka(村上正隆) D104  
 Murakami Shigenori(村上茂教) P445  
 Muramatsu Hisafumi(村松久史) P203  
 Murata Akihiko(村田昭彦) P330  
 Murata Fumie(村田文絵) P458  
 Murata Isao(村田功) P218  
 Murata Yasuhiro(村田泰洋) P318  
 Murayama Shohei(村山昌平) A107  
 Murayama Toshiyuki(村山利幸) A402  
 Muroi Chiashi(室井ちあし) C311
- <N>  
 Nagai Hideyuki(永井秀幸) P244  
 Nagai Shin(永井信) P466  
 Nagasawa Yoshitsugu(永澤義嗣) C453  
 Nakagawa Kiyotaka(中川清隆) P135  
 Nakagawa Kiyotaka(中川清隆) P236  
 Nakai Sento(中井専人) D408  
 Nakai Sento(中井専人) P416  
 Nakajima Hideaki(中島英彰) P223  
 Nakajima Kensuke(中島健介) B156  
 Nakajima Takashi(中島孝) C154  
 Nakajima Takashi(中島孝) P361  
 Nakajima Teruyuki(中島映至) C153  
 Nakamura Ayako(中村綾子) P145  
 Nakamura Hisashi(中村尚) A458  
 Nakamura Reina(中村麗奈) P241  
 Nakano Masuo(中野満寿男) P462  
 Nakao Tetsuya(中尾哲弥) P352  
 Nakazawa Tetsuo(中澤哲夫) P170  
 Naoe Hiroaki(直江寛明) P110  
 Narita Masami(成田正巳) B401  
 Nasuno Tomoe(那須野智江) B309  
 Niato Yoko(内藤陽子) D304  
 Niimura Noriko(新村典子) P109
- Ninomiya Kozo(二宮洗三) D102  
 Nishita Chiharu(西田千春) P217  
 Nishizawa Seiya(西澤誠也) A464  
 Nishizawa Tomoaki(西澤智明) P269  
 Niwano Masanori(庭野将徳) C306  
 Noda Kazuhiro(野田和宏) P403  
 Nohguchi Yasuaki(納口恭明) P431  
 Nonaka Yoshimasa(野中善政) P101
- <O>  
 Obata Atsushi(小畑淳) P447  
 Ogi Masayo(小木雅世) A462  
 Ogura Tomoo(小倉知夫) P446  
 Ohashi Yukitaka(大橋唯太) C402  
 Ohashi Yukitaka(大橋唯太) C403  
 Ohfuchi Wataru(大淵濟) A302  
 Ohhashi Yasuaki(大橋康昭) P329  
 Oh'izumi Mitsuo(大泉三津夫) P471  
 Ohno Hiroyuki(大野宏之) P367  
 Ohno Yuichi(大野裕一) B303  
 Ohnuma Hirohito(大沼啓人) B102  
 Ohnuma Hirohito(大沼啓人) D201  
 Ohtake Hideaki(大竹秀明) P418  
 Oishi Tetsuya(大石徹也) P427  
 Okada Itaru(岡田格) P338  
 Okada Kikuo(岡田菊夫) A404  
 Okada Kozo(岡田弘三) D152  
 Okada Ryo(岡田亮) P425  
 Ono Keisuke(小野圭介) P239  
 Onogi Kazutoshi(大野木和敏) P324  
 Onogi Kazutoshi(大野木和敏) P448  
 Onuki Syuuhei(大貫修平) P432  
 Ookubo Atsushi(大久保篤) P130  
 Oota Yoshifumi(太田芳文) B203  
 Orikasa Narihiro(折笠成宏) P406  
 Orito Kohro(折戸光太郎) P204  
 Oshima Kazuhiro(大島和裕) P219  
 Oshima Naga(大島長) A104  
 Owada Haruki(大和田春樹) A203  
 Owada Michio(大和田道雄) A202
- <P>  
 Park Sangsoon(朴相郡) P141  
 Peng Xindong(彭新東) B407
- <R>  
 Rajendran Kavirajan B455
- <S>  
 Saigusa Nobuko(三枝信子) P247  
 Saito Makoto(齋藤誠) P226  
 Sakai Tetsu(酒井哲) P113  
 Sakamaki Hiroshi(酒巻洋) P335  
 Sakamoto Kei(坂本圭) D302  
 Sakamoto Masami(坂本雅巳) P325  
 Sakamoto Naomi(坂元尚美) P316  
 Sakanoi Kazuyo(坂野井和代) P464  
 Sakashita Keiichiro(坂下佳一郎) P417  
 Sakurai Mari(櫻井麻里) C105  
 Sakurai Namiko(櫻井南海子) P459

- Sasaki Yoshiaki(佐々木佳明) D206  
 Sato Hiroki(佐藤弘樹) P206  
 Sato Mitsuteru(佐藤光輝) P348  
 Satoh Masaki(佐藤正樹) B155  
 Satou Naoki(佐藤尚毅) B160  
 Satou Naoki(佐藤尚毅) C106  
 Sawada Masahiro(沢田雅洋) P232  
 Sawai Tetsushige(澤井哲滋) B406  
 Seiki Ayako(清水亜矢子) C205  
 Seki Takanori(関隆則) P402  
 Sekiguchi Miho(関口美保) P343  
 Sekizawa Shinya(関澤信也) P165  
 Seko Hiromu(瀬古弘) B402  
 Seto Shinta(瀬戸心太) P364  
 Seto Trihandoko C302  
 Shibata Kiyotaka(柴田清孝) P319  
 Shimamura Yuichi(島村雄一) P171  
 Shimizu Atsushi(清水厚) P259  
 Shimizu Kensaku(清水健作) P154  
 Shimizu Shingo(清水慎吾) P411  
 Shimizu Takahiro(清水崇博) P152  
 Shimomai Toyoshi(下舞豊志) P407  
 Shimoyama Kou(下山宏) P258  
 Shinoda Taro(篠田太郎) A155  
 Shiobara Masataka(塩原匡貴) P106  
 Shirooka Ryuichi(城岡竜一) C201  
 Shoji Akiko(小司晶子) D153  
 Shoji Keichirou(庄司桂一郎) P323  
 Shudou Yasuo(首藤康雄) P368  
 Shusse Yukari(出世ゆかり) P147  
 Siogama Hideo(塩竈秀夫) A455  
 Sone Youhei(曾根洋平) B154  
 Sudo Kengo(須藤健悟) P208  
 Sugawara Hirofumi(菅原広史) C405  
 Sugawara Hirofumi(菅原広史) P129  
 Sugimoto Nobuo(杉本伸夫) C161  
 Sugimoto Norihiko(杉本憲彦) B158  
 Sugimura Takeshi(杉村剛) P356  
 Sugita Takafumi(杉田考史) B204  
 Suzuki Hiroto(鈴木博人) P150  
 Suzuki Hiroto(鈴木博人) P315  
 Suzuki Kazue(鈴木香寿恵) P311  
 Suzuki Kenji(鈴木賢士) P408  
 Suzuki Kenntarou(鈴木健太郎) C157  
 Suzuki Kentaroh(鈴木健太郎) P137  
 Suzuki Rikie(鈴木力英) P314  
 Suzuki Shin(鈴木臣) P345  
 Suzuki Tsuneaki(鈴木恒明) B310
- <T>  
 Tagami Hiroataka(田上浩孝) D101  
 Tagami Hiroataka(田上浩孝) P410  
 Tagami Yoshio(田上善夫) P422  
 Tagawa Tetsuya(田川哲也) P365  
 Tahira Makoto(田平誠) P440  
 Takahashi Nobuhiro(高橋暢宏) P162  
 Takahashi Yoshiyuki(高橋芳幸) B152  
 Takahashi Yukihiko(高橋幸弘) P347  
 Takai Hiroshi(高井博司) C103  
 Takaki Toshiaki(高木敏明) P326
- Takamura Chikako(高村近子) A108  
 Takamura Tamio(高村民雄) A407  
 Takamura Yoko(高村陽子) P444  
 Takano Kiyoharu(高野清治) B408  
 Takano Toshiaki(鷹野敏明) P271  
 Takata Kumiko(高田久美子) P252  
 Takaya Koutarou(高谷康太郎) C101  
 Takayabu Izuru(高藪出) B162  
 Takayabu Yukari(高藪縁) B308  
 Takayama Yozo(高山陽三) B304  
 Takebe Yusaku(武部裕作) P105  
 Takemi Tetsuya(竹見哲也) C203  
 Takenouchi Kensuke(竹之内健介) P225  
 Takeuchi Nobuo(竹内延夫) P228  
 Tamagawa Ichiro(玉川一郎) A151  
 Tanaka Hiroharu(田中博春) P213  
 Tanaka Hiroshi(田中博) A452  
 Tanaka Minoru(田中実) P309  
 Tanaka Taichu(田中泰宙) P114  
 Tanimoto Youichi(谷本陽一) D162  
 Tashiro Tomoyuki(田代朋之) B202  
 Tauchi Toshiharu(田内利治) P328  
 Terao Toru(寺尾徹) C204  
 Teshiba Michihiro(手柴充博) C307  
 Toda Motomu(戸田求) P261  
 Tomikawa Yoshihiro(富川喜弘) P357  
 Tomita Tomohiko(富田智彦) P465  
 Tomosada Akira(友定彰) D155  
 Tsuguchi Hiroshige(津川裕茂) B101  
 Tsuji Koichiro(辻宏一郎) C305  
 Tsujino Fumitaka(辻野文剛) C303  
 Tsujioka Naoya(辻岡直也) P268  
 Tsunematsu Nobumitsu(常松展充) A403  
 Tsunematsu Nobumitsu(常松展充) D202  
 Tsushima Yoko(對馬洋子) C156  
 Tsutsumi Yukitomo(堤之智) P119
- <U>  
 Uchida Takanori(内田孝紀) P126  
 Uchida Youhei(内田洋平) D163  
 Uchiyama Akihiro(内山明博) C158  
 Uchiyama Takao(内山貴雄) A310  
 Ueda Hiroaki(植田宏昭) B452  
 Ueda Hiroaki(植田宏昭) P131  
 Uekiyo Naotaka(上清直隆) P322  
 Uematsu Akihisa(植松明久) P140  
 Ueno Kenichi(上野健一) A204  
 Ueno Kenichi(上野健一) P128  
 Ueno Mitsuru(上野充) C310  
 Ushiyama Tomoki(牛山朋来) P143
- <W>  
 Wada Akiyoshi(和田章義) P452  
 Wada Eiko(和田英子) P139  
 Wakatsuki Yasutaka(若月泰孝) P428  
 Watai Tomonori(渡井智則) P123  
 Watai Tomonori(渡井智則) P255  
 Watanabe Akira(渡辺明) P151  
 Watanabe Koichi(渡辺幸一) P430  
 Watanabe Masahiro(渡部雅浩) A454
- Watanabe Masahiro(渡邊匡央) P125  
 Watarai Yasushi(渡来靖) P429
- <X>  
 Xu Jianqing(徐健青) P230
- <Y>  
 Yabuki Masanori(矢吹正教) P107  
 Yahagi Toshihiro(矢萩智裕) P215  
 Yamada Maromu(山田丸) P103  
 Yamada Tetsuji(山田哲二) C406  
 Yamada Yoshinori(山田芳則) P164  
 Yamagishi Yonejiro(山岸米二郎) B301  
 Yamamoto Akira(山本哲) B305  
 Yamamoto Hirotsugu(山本浩嗣) P155  
 Yamamoto Kentaro(山本健太郎) A461  
 Yamamoto Masaru(山本勝) P212  
 Yamamoto Masayuki(山本真之) C304  
 Yamamoto Masayuki(山本真之) P463  
 Yamamoto Ryuzaburo(山元龍三郎) D154  
 Yamamoto Saki(山本さき) P369  
 Yamamoto Takashi(山本享) A406  
 Yamamoto Takashi(山本享) P115  
 Yamane Ayako(山根彩子) B302  
 Yamane Shozo(山根省三) A460  
 Yamanouchi Takeshi(山内恭) P220  
 Yamashita Katsuya(山下克也) P169  
 Yamazaki Koji(山崎孝治) A451  
 Yamazaki Nobuo(山崎信雄) C206  
 Yamazaki Takeshi(山崎剛) D207  
 Yanase Wataru(柳瀬亘) P156  
 Yanase Wataru(柳瀬亘) P353  
 Yang Kun(陽坤) P262  
 Yashiro Hisashi(八代尚) P209  
 Yasunaga Kazuaki(安永数明) P120  
 Yasunaka Sayaka(安中さやか) D159  
 Yasutomi Natsuko(安富奈津子) P304  
 Yi Sanghun(李相勲) P313  
 Yoden Sigeo(余田成男) C308  
 Yokohata Tokuta(横畠徳太) A311  
 Yokohata Tokuta(横畠徳太) P320  
 Yokoi Satoru(横井寛) P457  
 Yonetani Tsuneharu(米谷恒春) A308  
 Yoshida Satoru(吉田智) P433  
 Yoshida Yukio(吉田幸生) P265  
 Yoshikoshi Hisashi(吉越恆) P249  
 Yoshimoto Mayumi(吉本真由美) P245  
 Yoshimura Hiromasa(吉村裕正) P333  
 Yoshimura Kei(芳村圭) B453  
 Yoshino Jun(吉野純) C104  
 Yoshioka Mayumi(吉岡真由美) C312  
 Yoshizaki Masanori(吉崎正憲) D401  
 Yoshizaki Masanori(吉崎正憲) D402  
 Yukimoto Seiji(行本誠史) A309  
 Yumimoto Keiya(弓本桂也) P312  
 Yumoto Michiaki(湯本道明) P235
- <Z>  
 Zaizen Yuji(財前祐二) P112  
 Zhou Libo P202